



第15期 定時株主総会 招集ご通知

リンカーズ株式会社

目 次

第15期定時株主総会招集ご通知	1
株主総会参考書類	5
事業報告	9
計算書類	36
監査報告	42

開催日時 2026年10月27日（火曜日）午前10時
受付開始：午前9時30分

開催場所 東京都港区三田三丁目5番19号
住友不動産東京三田ガーデンタワー3階
ベルサール三田ガーデン Room 2
(本店移転により開催場所が上記のとおり変更となっておりますので、末尾の「株主総会会場ご案内図」をご参照のうえ、お間違えのないようご来場ください。)

議 案 第1号議案 定款一部変更の件
第2号議案 取締役4名選任の件

株主総会にご出席いただけない場合

書面（郵送）又はインターネットにより議決権を行使ください
ますようお願い申し上げます。
議決権行使期限：2026年10月26日（月曜日）午後6時まで

証券コード 5131
2026年10月5日

株 主 各 位

東京都港区三田三丁目5番19号
リンカーズ株式会社
代表取締役社長 加 福 秀 互

第15期定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社第15期定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご通知申し上げます。

本株主総会の招集に際しては、株主総会参考書類等の内容である情報（電子提供措置事項）について電子提供措置をとっており、インターネット上の以下の各ウェブサイトに掲載しておりますので、いずれかのウェブサイトにアクセスの上、ご確認くださいませようお願い申し上げます。

【当社ウェブサイト】

<https://corp.linkers.net/>

（上記ウェブサイトにアクセスいただき、メニューより「IR情報」「株式情報」「株主総会」を順に選択いただき、ご確認ください。）

また、電子提供措置事項は、当社ウェブサイトのほか、東京証券取引所のウェブサイトにも掲載しておりますので、以下よりご確認ください。

【東京証券取引所ウェブサイト（東証上場会社情報サービス）】

<https://www2.jpx.co.jp/tseHpFront/JJK010010Action.do?Show=Show>

（上記の東証ウェブサイトアクセスいただき、「銘柄名（会社名）」に「リンカーズ」又は「コード」に当社証券コード「5131」を入力・検索し、「基本情報」「縦覧書類／PR情報」を順に選択して、「縦覧書類」にある「株主総会招集通知／株主総会資料」欄よりご確認ください。）

なお、当日ご出席されない場合は、インターネット又は書面（郵送）によって議決権を行使することができますので、お手数ながら株主総会参考書類をご検討の上、2026年10月26日（月曜日）午後6時までに議決権を行使していただきますようお願い申し上げます。

【インターネットによる議決権行使の場合】

当社指定の議決権行使ウェブサイト（<https://evote.tr.mufig.jp/>）にアクセスしていただき、本招集ご通知とあわせてお送りする議決権行使書用紙に表示された「議決権行使コード」及び「パスワード」をご利用の上、画面の案内に従って、議案に対する賛否を上記の行使期限までにご入力ください。



〔書面（郵送）による議決権行使の場合〕

議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示いただき、上記の行使期限までに到着するようご返送ください。

敬 具

記

- | | | |
|---------|-------|--|
| 1. 日 | 時 | 2026年10月27日（火曜日）午前10時（受付開始 午前9時30分） |
| 2. 場 | 所 | 東京都港区三田三丁目5番19号
住友不動産東京三田ガーデンタワー3階
ベルサール三田ガーデン Room 2
(本店移転により開催場所が上記のとおり変更となっておりますので、末尾の「株主総会会場ご案内図」をご参照のうえ、お間違えのないようご来場ください。) |
| 3. 目的事項 | 報告事項 | 1. 第15期（2025年8月1日から2026年7月31日まで）事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第15期（2025年8月1日から2026年7月31日まで）計算書類報告の件 |
| | 決議事項 | |
| | 第1号議案 | 定款一部変更の件 |
| | 第2号議案 | 取締役4名選任の件 |

4. 招集にあたっての決定事項（議決権行使についてのご案内）

- (1) 書面（郵送）により議決権を行使された場合の議決権行使書において、議案に対する賛否の表示がない場合は、賛成の表示があったものとしてお取り扱いいたします。
- (2) インターネットにより複数回、議決権を行使された場合は、最後に行われた議決権行使を有効なものとしてお取り扱いいたします。
- (3) インターネットと書面（郵送）により重複して議決権を行使された場合は、到着日時を問わず、インターネットによる議決権行使を有効なものとしてお取り扱いいたします。
- (4) 代理人により議決権を行使される場合は、議決権を有する他の株主の方1名を代理人として株主総会にご出席いただけます。ただし、代理権を証明する書面のご提出が必要となりますのでご了承ください。

以 上

~~~~~  
◎当日ご出席の際は、お手数ながら議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申しあげます。また、紙資源の節約のため、「本招集ご通知」をご持参くださいますようお願い申しあげます。

◎電子提供措置事項に修正が生じた場合は、上記インターネット上の各ウェブサイトにおいて、その旨、修正前及び修正後の事項を掲載いたします。

◎書面交付請求をいただいた株主様には、電子提供措置事項を記載した書面をあわせてお送りいたしますが、当該書面は、法令及び当社定款第14条第2項の規定に基づき、次に掲げる事項を除いております。

- ・連結計算書類の「連結注記表」
- ・計算書類の「個別注記表」

したがって、当該書面に記載している連結計算書類及び計算書類は、会計監査人が会計監査報告を、監査役が監査報告を作成するに際して監査をした対象書類の一部であります。



## 議決権行使についてのご案内

株主総会における議決権は、株主の皆さまの大切な権利です。  
株主総会参考書類をご検討の上、議決権を行使していただきますようお願い申し上げます。  
議決権を行使する方法は、以下の3つの方法がございます。



### 株主総会に ご出席される場合

議決権行使書用紙を会場受付にご提出ください。

日 時

2026年10月27日（火曜日）  
午前10時  
（受付開始：午前9時30分）



### 書面（郵送）で議決権を 行使される場合

議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示の上、切手を貼らずにご投函ください。

行使期限

2026年10月26日（月曜日）  
午後6時到着分まで



### インターネットで議決権を 行使される場合

議決権行使ウェブサイトにアクセスし、画面の案内に従って議案の賛否をご入力ください。

行使期限

2026年10月26日（月曜日）  
午後6時入力完了分まで

## 議決権行使書用紙のご記入方法のご案内

議決権行使書

〇〇〇〇〇〇 部中

株主総会日 議決権の数 XX股

XXXXXXXXXX月XX日

1. \_\_\_\_\_

2. \_\_\_\_\_

3. \_\_\_\_\_

4. \_\_\_\_\_

5. \_\_\_\_\_

6. \_\_\_\_\_

7. \_\_\_\_\_

8. \_\_\_\_\_

9. \_\_\_\_\_

10. \_\_\_\_\_

11. \_\_\_\_\_

12. \_\_\_\_\_

13. \_\_\_\_\_

14. \_\_\_\_\_

15. \_\_\_\_\_

16. \_\_\_\_\_

17. \_\_\_\_\_

18. \_\_\_\_\_

19. \_\_\_\_\_

20. \_\_\_\_\_

21. \_\_\_\_\_

22. \_\_\_\_\_

23. \_\_\_\_\_

24. \_\_\_\_\_

25. \_\_\_\_\_

26. \_\_\_\_\_

27. \_\_\_\_\_

28. \_\_\_\_\_

29. \_\_\_\_\_

30. \_\_\_\_\_

31. \_\_\_\_\_

32. \_\_\_\_\_

33. \_\_\_\_\_

34. \_\_\_\_\_

35. \_\_\_\_\_

36. \_\_\_\_\_

37. \_\_\_\_\_

38. \_\_\_\_\_

39. \_\_\_\_\_

40. \_\_\_\_\_

41. \_\_\_\_\_

42. \_\_\_\_\_

43. \_\_\_\_\_

44. \_\_\_\_\_

45. \_\_\_\_\_

46. \_\_\_\_\_

47. \_\_\_\_\_

48. \_\_\_\_\_

49. \_\_\_\_\_

50. \_\_\_\_\_

51. \_\_\_\_\_

52. \_\_\_\_\_

53. \_\_\_\_\_

54. \_\_\_\_\_

55. \_\_\_\_\_

56. \_\_\_\_\_

57. \_\_\_\_\_

58. \_\_\_\_\_

59. \_\_\_\_\_

60. \_\_\_\_\_

61. \_\_\_\_\_

62. \_\_\_\_\_

63. \_\_\_\_\_

64. \_\_\_\_\_

65. \_\_\_\_\_

66. \_\_\_\_\_

67. \_\_\_\_\_

68. \_\_\_\_\_

69. \_\_\_\_\_

70. \_\_\_\_\_

71. \_\_\_\_\_

72. \_\_\_\_\_

73. \_\_\_\_\_

74. \_\_\_\_\_

75. \_\_\_\_\_

76. \_\_\_\_\_

77. \_\_\_\_\_

78. \_\_\_\_\_

79. \_\_\_\_\_

80. \_\_\_\_\_

81. \_\_\_\_\_

82. \_\_\_\_\_

83. \_\_\_\_\_

84. \_\_\_\_\_

85. \_\_\_\_\_

86. \_\_\_\_\_

87. \_\_\_\_\_

88. \_\_\_\_\_

89. \_\_\_\_\_

90. \_\_\_\_\_

91. \_\_\_\_\_

92. \_\_\_\_\_

93. \_\_\_\_\_

94. \_\_\_\_\_

95. \_\_\_\_\_

96. \_\_\_\_\_

97. \_\_\_\_\_

98. \_\_\_\_\_

99. \_\_\_\_\_

100. \_\_\_\_\_

101. \_\_\_\_\_

102. \_\_\_\_\_

103. \_\_\_\_\_

104. \_\_\_\_\_

105. \_\_\_\_\_

106. \_\_\_\_\_

107. \_\_\_\_\_

108. \_\_\_\_\_

109. \_\_\_\_\_

110. \_\_\_\_\_

111. \_\_\_\_\_

112. \_\_\_\_\_

113. \_\_\_\_\_

114. \_\_\_\_\_

115. \_\_\_\_\_

116. \_\_\_\_\_

117. \_\_\_\_\_

118. \_\_\_\_\_

119. \_\_\_\_\_

120. \_\_\_\_\_

121. \_\_\_\_\_

122. \_\_\_\_\_

123. \_\_\_\_\_

124. \_\_\_\_\_

125. \_\_\_\_\_

126. \_\_\_\_\_

127. \_\_\_\_\_

128. \_\_\_\_\_

129. \_\_\_\_\_

130. \_\_\_\_\_

131. \_\_\_\_\_

132. \_\_\_\_\_

133. \_\_\_\_\_

134. \_\_\_\_\_

135. \_\_\_\_\_

136. \_\_\_\_\_

137. \_\_\_\_\_

138. \_\_\_\_\_

139. \_\_\_\_\_

140. \_\_\_\_\_

141. \_\_\_\_\_

142. \_\_\_\_\_

143. \_\_\_\_\_

144. \_\_\_\_\_

145. \_\_\_\_\_

146. \_\_\_\_\_

147. \_\_\_\_\_

148. \_\_\_\_\_

149. \_\_\_\_\_

150. \_\_\_\_\_

151. \_\_\_\_\_

152. \_\_\_\_\_

153. \_\_\_\_\_

154. \_\_\_\_\_

155. \_\_\_\_\_

156. \_\_\_\_\_

157. \_\_\_\_\_

158. \_\_\_\_\_

159. \_\_\_\_\_

160. \_\_\_\_\_

161. \_\_\_\_\_

162. \_\_\_\_\_

163. \_\_\_\_\_

164. \_\_\_\_\_

165. \_\_\_\_\_

166. \_\_\_\_\_

167. \_\_\_\_\_

168. \_\_\_\_\_

169. \_\_\_\_\_

170. \_\_\_\_\_

171. \_\_\_\_\_

172. \_\_\_\_\_

173. \_\_\_\_\_

174. \_\_\_\_\_

175. \_\_\_\_\_

176. \_\_\_\_\_

177. \_\_\_\_\_

178. \_\_\_\_\_

179. \_\_\_\_\_

180. \_\_\_\_\_

181. \_\_\_\_\_

182. \_\_\_\_\_

183. \_\_\_\_\_

184. \_\_\_\_\_

185. \_\_\_\_\_

186. \_\_\_\_\_

187. \_\_\_\_\_

188. \_\_\_\_\_

189. \_\_\_\_\_

190. \_\_\_\_\_

191. \_\_\_\_\_

192. \_\_\_\_\_

193. \_\_\_\_\_

194. \_\_\_\_\_

195. \_\_\_\_\_

196. \_\_\_\_\_

197. \_\_\_\_\_

198. \_\_\_\_\_

199. \_\_\_\_\_

200. \_\_\_\_\_

201. \_\_\_\_\_

202. \_\_\_\_\_

203. \_\_\_\_\_

204. \_\_\_\_\_

205. \_\_\_\_\_

206. \_\_\_\_\_

207. \_\_\_\_\_

208. \_\_\_\_\_

209. \_\_\_\_\_

210. \_\_\_\_\_

211. \_\_\_\_\_

212. \_\_\_\_\_

213. \_\_\_\_\_

214. \_\_\_\_\_

215. \_\_\_\_\_

216. \_\_\_\_\_

217. \_\_\_\_\_

218. \_\_\_\_\_

219. \_\_\_\_\_

220. \_\_\_\_\_

221. \_\_\_\_\_

222. \_\_\_\_\_

223. \_\_\_\_\_

224. \_\_\_\_\_

225. \_\_\_\_\_

226. \_\_\_\_\_

227. \_\_\_\_\_

228. \_\_\_\_\_

229. \_\_\_\_\_

230. \_\_\_\_\_

231. \_\_\_\_\_

232. \_\_\_\_\_

233. \_\_\_\_\_

234. \_\_\_\_\_

235. \_\_\_\_\_

236. \_\_\_\_\_

237. \_\_\_\_\_

238. \_\_\_\_\_

239. \_\_\_\_\_

240. \_\_\_\_\_

241. \_\_\_\_\_

242. \_\_\_\_\_

243. \_\_\_\_\_

244. \_\_\_\_\_

245. \_\_\_\_\_

246. \_\_\_\_\_

247. \_\_\_\_\_

248. \_\_\_\_\_

249. \_\_\_\_\_

250. \_\_\_\_\_

251. \_\_\_\_\_

252. \_\_\_\_\_

253. \_\_\_\_\_

254. \_\_\_\_\_

255. \_\_\_\_\_

256. \_\_\_\_\_

257. \_\_\_\_\_

258. \_\_\_\_\_

259. \_\_\_\_\_

260. \_\_\_\_\_

261. \_\_\_\_\_

262. \_\_\_\_\_

263. \_\_\_\_\_

264. \_\_\_\_\_

265. \_\_\_\_\_

266. \_\_\_\_\_

267. \_\_\_\_\_

268. \_\_\_\_\_

269. \_\_\_\_\_

270. \_\_\_\_\_

271. \_\_\_\_\_

272. \_\_\_\_\_

273. \_\_\_\_\_

274. \_\_\_\_\_

275. \_\_\_\_\_

276. \_\_\_\_\_

277. \_\_\_\_\_

278. \_\_\_\_\_

279. \_\_\_\_\_

280. \_\_\_\_\_

281. \_\_\_\_\_

282. \_\_\_\_\_

283. \_\_\_\_\_

284. \_\_\_\_\_

285. \_\_\_\_\_

286. \_\_\_\_\_

287. \_\_\_\_\_

288. \_\_\_\_\_

289. \_\_\_\_\_

290. \_\_\_\_\_

291. \_\_\_\_\_

292. \_\_\_\_\_

293. \_\_\_\_\_

294. \_\_\_\_\_

295. \_\_\_\_\_

296. \_\_\_\_\_

297. \_\_\_\_\_

298. \_\_\_\_\_

299. \_\_\_\_\_

300. \_\_\_\_\_

301. \_\_\_\_\_

302. \_\_\_\_\_

303. \_\_\_\_\_

304. \_\_\_\_\_

305. \_\_\_\_\_

306. \_\_\_\_\_

307. \_\_\_\_\_

308. \_\_\_\_\_

309. \_\_\_\_\_

310. \_\_\_\_\_

311. \_\_\_\_\_

312. \_\_\_\_\_

313. \_\_\_\_\_

314. \_\_\_\_\_

315. \_\_\_\_\_

316. \_\_\_\_\_

317. \_\_\_\_\_

318. \_\_\_\_\_

319. \_\_\_\_\_

320. \_\_\_\_\_

321. \_\_\_\_\_

322. \_\_\_\_\_

323. \_\_\_\_\_

324. \_\_\_\_\_

325. \_\_\_\_\_

326. \_\_\_\_\_

327. \_\_\_\_\_

328. \_\_\_\_\_

329. \_\_\_\_\_

330. \_\_\_\_\_

331. \_\_\_\_\_

332. \_\_\_\_\_

333. \_\_\_\_\_

334. \_\_\_\_\_

335. \_\_\_\_\_

336. \_\_\_\_\_

337. \_\_\_\_\_

338. \_\_\_\_\_

339. \_\_\_\_\_

340. \_\_\_\_\_

341. \_\_\_\_\_

342. \_\_\_\_\_

343. \_\_\_\_\_

344. \_\_\_\_\_

345. \_\_\_\_\_

346. \_\_\_\_\_

347. \_\_\_\_\_

348. \_\_\_\_\_

349. \_\_\_\_\_

350. \_\_\_\_\_

351. \_\_\_\_\_

352. \_\_\_\_\_

353. \_\_\_\_\_

354. \_\_\_\_\_

355. \_\_\_\_\_

356. \_\_\_\_\_

357. \_\_\_\_\_

358. \_\_\_\_\_

359. \_\_\_\_\_

360. \_\_\_\_\_

361. \_\_\_\_\_

362. \_\_\_\_\_

363. \_\_\_\_\_

364. \_\_\_\_\_

365. \_\_\_\_\_

366. \_\_\_\_\_

367. \_\_\_\_\_

368. \_\_\_\_\_

369. \_\_\_\_\_

370. \_\_\_\_\_

371. \_\_\_\_\_

372. \_\_\_\_\_

373. \_\_\_\_\_

374. \_\_\_\_\_

375. \_\_\_\_\_

376. \_\_\_\_\_

377. \_\_\_\_\_

378. \_\_\_\_\_

379. \_\_\_\_\_

380. \_\_\_\_\_

381. \_\_\_\_\_

382. \_\_\_\_\_

383. \_\_\_\_\_

384. \_\_\_\_\_

385. \_\_\_\_\_

386. \_\_\_\_\_

387. \_\_\_\_\_

388. \_\_\_\_\_

389. \_\_\_\_\_

390. \_\_\_\_\_

391. \_\_\_\_\_

392. \_\_\_\_\_

393. \_\_\_\_\_

394. \_\_\_\_\_

395. \_\_\_\_\_

396. \_\_\_\_\_

397. \_\_\_\_\_

398. \_\_\_\_\_

399. \_\_\_\_\_

400. \_\_\_\_\_

401. \_\_\_\_\_

402. \_\_\_\_\_

403. \_\_\_\_\_

404. \_\_\_\_\_

405. \_\_\_\_\_

406. \_\_\_\_\_

407. \_\_\_\_\_

408. \_\_\_\_\_

409. \_\_\_\_\_

410. \_\_\_\_\_

411. \_\_\_\_\_

412. \_\_\_\_\_

413. \_\_\_\_\_

414. \_\_\_\_\_

415. \_\_\_\_\_

416. \_\_\_\_\_

417. \_\_\_\_\_

418. \_\_\_\_\_

419. \_\_\_\_\_

420. \_\_\_\_\_

421. \_\_\_\_\_

422. \_\_\_\_\_

423. \_\_\_\_\_

424. \_\_\_\_\_

425. \_\_\_\_\_

426. \_\_\_\_\_

427. \_\_\_\_\_

428. \_\_\_\_\_

429. \_\_\_\_\_

430. \_\_\_\_\_

431. \_\_\_\_\_

432. \_\_\_\_\_

433. \_\_\_\_\_

434. \_\_\_\_\_

435. \_\_\_\_\_

436. \_\_\_\_\_

437. \_\_\_\_\_

438. \_\_\_\_\_

439. \_\_\_\_\_

440. \_\_\_\_\_

441. \_\_\_\_\_

442. \_\_\_\_\_

443. \_\_\_\_\_

444. \_\_\_\_\_

445. \_\_\_\_\_

446. \_\_\_\_\_

447. \_\_\_\_\_

448. \_\_\_\_\_

449. \_\_\_\_\_

450. \_\_\_\_\_

451. \_\_\_\_\_

452. \_\_\_\_\_

453. \_\_\_\_\_

454. \_\_\_\_\_

455. \_\_\_\_\_

456. \_\_\_\_\_

457. \_\_\_\_\_

458. \_\_\_\_\_

459. \_\_\_\_\_

460. \_\_\_\_\_

461. \_\_\_\_\_

462. \_\_\_\_\_

463. \_\_\_\_\_

464. \_\_\_\_\_

465. \_\_\_\_\_

466. \_\_\_\_\_

467. \_\_\_\_\_

468. \_\_\_\_\_

469. \_\_\_\_\_

470. \_\_\_\_\_

471. \_\_\_\_\_

472. \_\_\_\_\_

473. \_\_\_\_\_

474. \_\_\_\_\_

475. \_\_\_\_\_

476. \_\_\_\_\_

477. \_\_\_\_\_

478. \_\_\_\_\_

479. \_\_\_\_\_

480. \_\_\_\_\_

481. \_\_\_\_\_

482. \_\_\_\_\_

483. \_\_\_\_\_

484. \_\_\_\_\_

485. \_\_\_\_\_

486. \_\_\_\_\_

487. \_\_\_\_\_

488. \_\_\_\_\_

489. \_\_\_\_\_

490. \_\_\_\_\_

491. \_\_\_\_\_

492. \_\_\_\_\_

493. \_\_\_\_\_

494. \_\_\_\_\_

495. \_\_\_\_\_

496. \_\_\_\_\_

497. \_\_\_\_\_

498. \_\_\_\_\_

499. \_\_\_\_\_

500. \_\_\_\_\_

501. \_\_\_\_\_

502. \_\_\_\_\_

503. \_\_\_\_\_

504. \_\_\_\_\_

505. \_\_\_\_\_

506. \_\_\_\_\_

507. \_\_\_\_\_

508. \_\_\_\_\_

509. \_\_\_\_\_

510. \_\_\_\_\_

511. \_\_\_\_\_

512. \_\_\_\_\_

513. \_\_\_\_\_

514. \_\_\_\_\_

515. \_\_\_\_\_

516. \_\_\_\_\_

517. \_\_\_\_\_

518. \_\_\_\_\_

519. \_\_\_\_\_

520. \_\_\_\_\_

521. \_\_\_\_\_

522. \_\_\_\_\_

523. \_\_\_\_\_

524. \_\_\_\_\_

525. \_\_\_\_\_

526. \_\_\_\_\_

527. \_\_\_\_\_

528. \_\_\_\_\_

529. \_\_\_\_\_

530. \_\_\_\_\_

531. \_\_\_\_\_

532. \_\_\_\_\_

533. \_\_\_\_\_

534. \_\_\_\_\_

535. \_\_\_\_\_

536. \_\_\_\_\_

537. \_\_\_\_\_

538. \_\_\_\_\_

539. \_\_\_\_\_

540. \_\_\_\_\_

541. \_\_\_\_\_

542. \_\_\_\_\_

543. \_\_\_\_\_

544. \_\_\_\_\_

545. \_\_\_\_\_

546. \_\_\_\_\_

547. \_\_\_\_\_

548. \_\_\_\_\_

549. \_\_\_\_\_

550. \_\_\_\_\_

551. \_\_\_\_\_

552. \_\_\_\_\_

553. \_\_\_\_\_

554. \_\_\_\_\_

555. \_\_\_\_\_

556. \_\_\_\_\_

557. \_\_\_\_\_

558. \_\_\_\_\_

559. \_\_\_\_\_

560. \_\_\_\_\_

561. \_\_\_\_\_

562. \_\_\_\_\_

563. \_\_\_\_\_

564. \_\_\_\_\_

565. \_\_\_\_\_

566. \_\_\_\_\_

567. \_\_\_\_\_

568. \_\_\_\_\_

569. \_\_\_\_\_

570. \_\_\_\_\_

571. \_\_\_\_\_

572. \_\_\_\_\_

573. \_\_\_\_\_

574. \_\_\_\_\_

575. \_\_\_\_\_

576. \_\_\_\_\_

577. \_\_\_\_\_

578. \_\_\_\_\_

579. \_\_\_\_\_

580. \_\_\_\_\_

581. \_\_\_\_\_

582. \_\_\_\_\_

583. \_\_\_\_\_

584. \_\_\_\_\_

585. \_\_\_\_\_

586. \_\_\_\_\_

587. \_\_\_\_\_

588. \_\_\_\_\_

589. \_\_\_\_\_

590. \_\_\_\_\_

591. \_\_\_\_\_

592. \_\_\_\_\_

593. \_\_\_\_\_

594. \_\_\_\_\_

595. \_\_\_\_\_

596. \_\_\_\_\_

597. \_\_\_\_\_

598. \_\_\_\_\_

599. \_\_\_\_\_

600. \_\_\_\_\_

601. \_\_\_\_\_

602. \_\_\_\_\_

603. \_\_\_\_\_

604. \_\_\_\_\_

605. \_\_\_\_\_

606. \_\_\_\_\_

607. \_\_\_\_\_

608. \_\_\_\_\_

609. \_\_\_\_\_

610. \_\_\_\_\_

611. \_\_\_\_\_

612. \_\_\_\_\_

613. \_\_\_\_\_

614. \_\_\_\_\_

615. \_\_\_\_\_

616. \_\_\_\_\_

617. \_\_\_\_\_

618. \_\_\_\_\_

619. \_\_\_\_\_

620. \_\_\_\_\_

621. \_\_\_\_\_

622. \_\_\_\_\_

623. \_\_\_\_\_

624. \_\_\_\_\_

625. \_\_\_\_\_

626. \_\_\_\_\_

627. \_\_\_\_\_

628. \_\_\_\_\_

629. \_\_\_\_\_

630. \_\_\_\_\_

631. \_\_\_\_\_

632. \_\_\_\_\_

633. \_\_\_\_\_

634. \_\_\_\_\_

635. \_\_\_\_\_

636. \_\_\_\_\_

637. \_\_\_\_\_

638. \_\_\_\_\_

639. \_\_\_\_\_

640. \_\_\_\_\_

641. \_\_\_\_\_

642. \_\_\_\_\_

643. \_\_\_\_\_

644. \_\_\_\_\_

645. \_\_\_\_\_

646. \_\_\_\_\_

647. \_\_\_\_\_

648. \_\_\_\_\_

649. \_\_\_\_\_

650. \_\_\_\_\_

651. \_\_\_\_\_

652. \_\_\_\_\_

653. \_\_\_\_\_

654. \_\_\_\_\_

655. \_\_\_\_\_

656. \_\_\_\_\_

657. \_\_\_\_\_

658. \_\_\_\_\_

659. \_\_\_\_\_

660. \_\_\_\_\_

661. \_\_\_\_\_

662. \_\_\_\_\_

663. \_\_\_\_\_

664. \_\_\_\_\_

665. \_\_\_\_\_

666. \_\_\_\_\_

667. \_\_\_\_\_

668. \_\_\_\_\_

669. \_\_\_\_\_

670. \_\_\_\_\_

671. \_\_\_\_\_

672. \_\_\_\_\_

673. \_\_\_\_\_

674. \_\_\_\_\_

675. \_\_\_\_\_

676. \_\_\_\_\_

677. \_\_\_\_\_

678. \_\_\_\_\_

679. \_\_\_\_\_

680. \_\_\_\_\_

681. \_\_\_\_\_

682. \_\_\_\_\_

683. \_\_\_\_\_

684. \_\_\_\_\_

685. \_\_\_\_\_

686. \_\_\_\_\_

687. \_\_\_\_\_

688. \_\_\_\_\_

689. \_\_\_\_\_

690. \_\_\_\_\_

691. \_\_\_\_\_

692. \_\_\_\_\_

693. \_\_\_\_\_

694. \_\_\_\_\_

695. \_\_\_\_\_

696. \_\_\_\_\_

697. \_\_\_\_\_

698. \_\_\_\_\_

699. \_\_\_\_\_

700. \_\_\_\_\_

701. \_\_\_\_\_

702. \_\_\_\_\_

703. \_\_\_\_\_

704. \_\_\_\_\_

705. \_\_\_\_\_

706. \_\_\_\_\_

707. \_\_\_\_\_

708. \_\_\_\_\_

709. \_\_\_\_\_

710. \_\_\_\_\_

711. \_\_\_\_\_

712. \_\_\_\_\_

713. \_\_\_\_\_

714. \_\_\_\_\_

715. \_\_\_\_\_

716. \_\_\_\_\_

717. \_\_\_\_\_

718. \_\_\_\_\_

719. \_\_\_\_\_

720. \_\_\_\_\_

721. \_\_\_\_\_

722. \_\_\_\_\_

723. \_\_\_\_\_

724. \_\_\_\_\_

725. \_\_\_\_\_

726. \_\_\_\_\_

727. \_\_\_\_\_

728. \_\_\_\_\_

729. \_\_\_\_\_

730. \_\_\_\_\_

731. \_\_\_\_\_

732. \_\_\_\_\_

733. \_\_\_\_\_

734. \_\_\_\_\_

735. \_\_\_\_\_

736. \_\_\_\_\_

737. \_\_\_\_\_

738. \_\_\_\_\_

739. \_\_\_\_\_

740. \_\_\_\_\_

741. \_\_\_\_\_

742. \_\_\_\_\_

743. \_\_\_\_\_

744. \_\_\_\_\_

745. \_\_\_\_\_

746. \_\_\_\_\_

747. \_\_\_\_\_

748. \_\_\_\_\_

749. \_\_\_\_\_

750. \_\_\_\_\_

751. \_\_\_\_\_

752. \_\_\_\_\_

753. \_\_\_\_\_

754. \_\_\_\_\_

755. \_\_\_\_\_

756. \_\_\_\_\_

757. \_\_\_\_\_

758. \_\_\_\_\_

759. \_\_\_\_\_

760. \_\_\_\_\_

761. \_\_\_\_\_

762. \_\_\_\_\_

763. \_\_\_\_\_

764. \_\_\_\_\_

765. \_\_\_\_\_

766. \_\_\_\_\_

767. \_\_\_\_\_

768. \_\_\_\_\_

769. \_\_\_\_\_

770. \_\_\_\_\_

771. \_\_\_\_\_

772. \_\_\_\_\_

773. \_\_\_\_\_

774. \_\_\_\_\_

775. \_\_\_\_\_

776. \_\_\_\_\_

777. \_\_\_\_\_

778. \_\_\_\_\_

779. \_\_\_\_\_

780. \_\_\_\_\_

781. \_\_\_\_\_

782. \_\_\_\_\_

783. \_\_\_\_\_

784. \_\_\_\_\_

785. \_\_\_\_\_

786. \_\_\_\_\_

787. \_\_\_\_\_

788. \_\_\_\_\_

789. \_\_\_\_\_

790. \_\_\_\_\_

791. \_\_\_\_\_

792. \_\_\_\_\_

793. \_\_\_\_\_

794. \_\_\_\_\_

795. \_\_\_\_\_

796. \_\_\_\_\_

797. \_\_\_\_\_

798. \_\_\_\_\_

799. \_\_\_\_\_

800. \_\_\_\_\_

801. \_\_\_\_\_

802. \_\_\_\_\_

803. \_\_\_\_\_

804. \_\_\_\_\_

805. \_\_\_\_\_

806. \_\_\_\_\_

807. \_\_\_\_\_

808. \_\_\_\_\_

809. \_\_\_\_\_

810. \_\_\_\_\_

811. \_\_\_\_\_

812. \_\_\_\_\_

813. \_\_\_\_\_

814. \_\_\_\_\_

815. \_\_\_\_\_

816. \_\_\_\_\_

817. \_\_\_\_\_

818. \_\_\_\_\_

819. \_\_\_\_\_

820. \_\_\_\_\_

821. \_\_\_\_\_

822. \_\_\_\_\_

823. \_\_\_\_\_

824. \_\_\_\_\_

825. \_\_\_\_\_

826. \_\_\_\_\_

827. \_\_\_\_\_

828. \_\_\_\_\_

829. \_\_\_\_\_

830. \_\_\_\_\_

831. \_\_\_\_\_

832. \_\_\_\_\_

833. \_\_\_\_\_

834. \_\_\_\_\_

835. \_\_\_\_\_

836. \_\_\_\_\_

837. \_\_\_\_\_

838. \_\_\_\_\_

839. \_\_\_\_\_

840. \_\_\_\_\_

841. \_\_\_\_\_

842. \_\_\_\_\_

843. \_\_\_\_\_

844. \_\_\_\_\_

845. \_\_\_\_\_

846. \_\_\_\_\_

847. \_\_\_\_\_

848. \_\_\_\_\_

849. \_\_\_\_\_

850. \_\_\_\_\_

851. \_\_\_\_\_

852. \_\_\_\_\_

853. \_\_\_\_\_

854. \_\_\_\_\_

855. \_\_\_\_\_

856. \_\_\_\_\_

857. \_\_\_\_\_

858. \_\_\_\_\_

859. \_\_\_\_\_

860. \_\_\_\_\_

861. \_\_\_\_\_

862. \_\_\_\_\_

863. \_\_\_\_\_

864. \_\_\_\_\_

865. \_\_\_\_\_

866. \_\_\_\_\_

867. \_\_\_\_\_

868. \_\_\_\_\_

869. \_\_\_\_\_

870. \_\_\_\_\_

871. \_\_\_\_\_

872. \_\_\_\_\_

873. \_\_\_\_\_

874. \_\_\_\_\_

875. \_\_\_\_\_

876. \_\_\_\_\_

877. \_\_\_\_\_

878. \_\_\_\_\_

879. \_\_\_\_\_

880. \_\_\_\_\_

881. \_\_\_\_\_

882. \_\_\_\_\_

883. \_\_\_\_\_

884. \_\_\_\_\_

885. \_\_\_\_\_

886. \_\_\_\_\_

887. \_\_\_\_\_

888. \_\_\_\_\_

889. \_\_\_\_\_

890. \_\_\_\_\_

891. \_\_\_\_\_

892. \_\_\_\_\_

893. \_\_\_\_\_

894. \_\_\_\_\_

895. \_\_\_\_\_

896. \_\_\_\_\_

897. \_\_\_\_\_

898. \_\_\_\_\_

899. \_\_\_\_\_

900. \_\_\_\_\_

901. \_\_\_\_\_

902. \_\_\_\_\_

903. \_\_\_\_\_

904. \_\_\_\_\_

905. \_\_\_\_\_

906. \_\_\_\_\_

907. \_\_\_\_\_

908. \_\_\_\_\_

909. \_\_\_\_\_

910. \_\_\_\_\_

911. \_\_\_\_\_

912. \_\_\_\_\_

913. \_\_\_\_\_

914. \_\_\_\_\_

915. \_\_\_\_\_

916. \_\_\_\_\_

917. \_\_\_\_\_

918. \_\_\_\_\_

919. \_\_\_\_\_

920. \_\_\_\_\_

921. \_\_\_\_\_

922. \_\_\_\_\_

923. \_\_\_\_\_

924. \_\_\_\_\_

925. \_\_\_\_\_

926. \_\_\_\_\_

927. \_\_\_\_\_

928. \_\_\_\_\_

929. \_\_\_\_\_

930. \_\_\_\_\_

931. \_\_\_\_\_

932. \_\_\_\_\_

933. \_\_\_\_\_

934. \_\_\_\_\_

935. \_\_\_\_\_

936. \_\_\_\_\_

937. \_\_\_\_\_

938. \_\_\_\_\_

939. \_\_\_\_\_

940. \_\_\_\_\_

941. \_\_\_\_\_

942. \_\_\_\_\_

943. \_\_\_\_\_

944. \_\_\_\_\_

945. \_\_\_\_\_

946. \_\_\_\_\_

947. \_\_\_\_\_

948. \_\_\_\_\_

949. \_\_\_\_\_

950. \_\_\_\_\_

951. \_\_\_\_\_

952. \_\_\_\_\_

953. \_\_\_\_\_

954. \_\_\_\_\_

955. \_\_\_\_\_

956. \_\_\_\_\_

957. \_\_\_\_\_

958. \_\_\_\_\_

959. \_\_\_\_\_

960. \_\_\_\_\_

961. \_\_\_\_\_

962. \_\_\_\_\_

963. \_\_\_\_\_

964. \_\_\_\_\_

965. \_\_\_\_\_

966. \_\_\_\_\_

967. \_\_\_\_\_

968. \_\_\_\_\_

969. \_\_\_\_\_

970. \_\_\_\_\_

971. \_\_\_\_\_

972. \_\_\_\_\_

973. \_\_\_\_\_

974. \_\_\_\_\_

975. \_\_\_\_\_

976. \_\_\_\_\_

977. \_\_\_\_\_

978. \_\_\_\_\_

979. \_\_\_\_\_

980. \_\_\_\_\_

981. \_\_\_\_\_

982. \_\_\_\_\_

983. \_\_\_\_\_

984. \_\_\_\_\_

985. \_\_\_\_\_

986. \_\_\_\_\_

987. \_\_\_\_\_

988. \_\_\_\_\_

989. \_\_\_\_\_

990. \_\_\_\_\_

991. \_\_\_\_\_

992. \_\_\_\_\_

993. \_\_\_\_\_

994. \_\_\_\_\_

995. \_\_\_\_\_

996. \_\_\_\_\_

997. \_\_\_\_\_

998. \_\_\_\_\_

999. \_\_\_\_\_

1000. \_\_\_\_\_

1001. \_\_\_\_\_

1002. \_\_\_\_\_

1003. \_\_\_\_\_

1004. \_\_\_\_\_

1005. \_\_\_\_\_

1006. \_\_\_\_\_

1007. \_\_\_\_\_

1008. \_\_\_\_\_

1009. \_\_\_\_\_

1010. \_\_\_\_\_

1011. \_\_\_\_\_

1012. \_\_\_\_\_

1013. \_\_\_\_\_

1014. \_\_\_\_\_

1015. \_\_\_\_\_

1016. \_\_\_\_\_

1017. \_\_\_\_\_

1018. \_\_\_\_\_

1019. \_\_\_\_\_

1020. \_\_\_\_\_

1021. \_\_\_\_\_

1022. \_\_\_\_\_

1023. \_\_\_\_\_

1024. \_\_\_\_\_

1025. \_\_\_\_\_

1026. \_\_\_\_\_

1027. \_\_\_\_\_

1028. \_\_\_\_\_

1029. \_\_\_\_\_

1030. \_\_\_\_\_

1031. \_\_\_\_\_

1032. \_\_\_\_\_

1033. \_\_\_\_\_

1034. \_\_\_\_\_

1035. \_\_\_\_\_

1036. \_\_\_\_\_

1037. \_\_\_\_\_

1038. \_\_\_\_\_

1039. \_\_\_\_\_

1040. \_\_\_\_\_

1041. \_\_\_\_\_

1042. \_\_\_\_\_

1043. \_\_\_\_\_

1044. \_\_\_\_\_

1045. \_\_\_\_\_

1046. \_\_\_\_\_

1047. \_\_\_\_\_

1048. \_\_\_\_\_

1049. \_\_\_\_\_

1050. \_\_\_\_\_

1051. \_\_\_\_\_

1052. \_\_\_\_\_

1053. \_\_\_\_\_

1054. \_\_\_\_\_

1055. \_\_\_\_\_

1056. \_\_\_\_\_

1057. \_\_\_\_\_

1058. \_\_\_\_\_

1059. \_\_\_\_\_

1060. \_\_\_\_\_

1061. \_\_\_\_\_

1062. \_\_\_\_\_

1063. \_\_\_\_\_

1064. \_\_\_\_\_

1065. \_\_\_\_\_

1066. \_\_\_\_\_

1067. \_\_\_\_\_

1068. \_\_\_\_\_

1069. \_\_\_\_\_

1070. \_\_\_\_\_

1071. \_\_\_\_\_

1072. \_\_\_\_\_

1073. \_\_\_\_\_

1074. \_\_\_\_\_

1075. \_\_\_\_\_

1076. \_\_\_\_\_

1077. \_\_\_\_\_

1078. \_\_\_\_\_

1079. \_\_\_\_\_

1080. \_\_\_\_\_

1081. \_\_\_\_\_

1082. \_\_\_\_\_

1083. \_\_\_\_\_

1084. \_\_\_\_\_

1085. \_\_\_\_\_

1086. \_\_\_\_\_

1087. \_\_\_\_\_

1088. \_\_\_\_\_

1089. \_\_\_\_\_

1090. \_\_\_\_\_

1091. \_\_\_\_\_

1092. \_\_\_\_\_

1093. \_\_\_\_\_

1094. \_\_\_\_\_

1095. \_\_\_\_\_

1096. \_\_\_\_\_

1097. \_\_\_\_\_

1098. \_\_\_\_\_

1099. \_\_\_\_\_

1100. \_\_\_\_\_

1101. \_\_\_\_\_

1102. \_\_\_\_\_

1103. \_\_\_\_\_

1104. \_\_\_\_\_

1105. \_\_\_\_\_

1106. \_\_\_\_\_

1107. \_\_\_\_\_

1108. \_\_\_\_\_

1109. \_\_\_\_\_

1110. \_\_\_\_\_

1111. \_\_\_\_\_

1112. \_\_\_\_\_

1113. \_\_\_\_\_

1114. \_\_\_\_\_

1115. \_\_\_\_\_

1116. \_\_\_\_\_

1117. \_\_\_\_\_

1118. \_\_\_\_\_

1119. \_\_\_\_\_

1120. \_\_\_\_\_

1121. \_\_\_\_\_

1122. \_\_\_\_\_

1123. \_\_\_\_\_

1124. \_\_\_\_\_

1125. \_\_\_\_\_

1126. \_\_\_\_\_

1127. \_\_\_\_\_

1128. \_\_\_\_\_

1129. \_\_\_\_\_

1130. \_\_\_\_\_

1131. \_\_\_\_\_

1132. \_\_\_\_\_

1133

# 株主総会参考書類

## 第 1 号議案 定款一部変更の件

### 1. 提案の理由

当社事業の現状に即し、事業内容の明確化を図るとともに、事業内容の多様化に対応するため、現行定款第 2 条（目的）につきまして事業目的を追加するものであります。  
また、事業目的の追加に伴い、号数を繰り下げるものであります。

### 2. 変更の内容

変更の内容は、次のとおりであります。

（下線部分は変更箇所を示しております。）

| 現 行 定 款                                                                                  | 変 更 案                                                                                                                      |
|------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| （目的）<br>第 2 条 当社は、次の事業を営むことを目的とする。<br><br>1～14 （条文省略）<br>（ 新 設 ）<br><br><u>15</u> （条文省略） | （目的）<br>第 2 条 （現行どおり）<br><br>1～14 （現行どおり）<br><u>15</u> 各種研修、セミナー、講習会等の企画、運営、実施及びそれらに関するコンサルティング業務<br><br><u>16</u> （現行どおり） |

第2号議案 取締役4名選任の件

取締役全員（4名）は、本総会終結の時をもって任期満了となります。つきましては、取締役4名の選任をお願いするものであります。

取締役候補者は、次のとおりであります。

|       |               |                 |
|-------|---------------|-----------------|
| 候補者番号 | か ぶ く ひ で の ぶ | 再 任             |
| 1     | 加 福 秀 互       | 1978年7月23日生（男性） |

取締役会出席回数 ■略歴、当社における地位及び担当並びに重要な兼職の状況

19回／19回  
(100%)

2003年 4 月 株式会社野村総合研究所 入社  
2013年 4 月 Distty株式会社（現当社） 代表取締役  
2017年 4 月 当社オープンイノベーション推進本部長  
2017年 7 月 当社取締役副社長  
2018年10月 当社取締役  
2023年 2 月 当社マッチングプラットフォーム事業本部長  
2026年 1 月 当社代表取締役社長（現任）  
イノベーション推進事業本部長（現任）  
株式会社リンカーズOI研究所取締役（現任）

取締役在任期間

13年7カ月

所有する当社株式の数

859,500株

■取締役候補者とした理由

当社入社以来、営業部門を牽引し、当社の事業の責任者として豊富な経験と幅広い見識を持ち合わせており、今後も当社事業の持続的成長への貢献が期待できると判断したことから、引き続き取締役として選任をお願いするものであります。

候補者番号

2

え がしら ひろ かず

江 頭 宏 一

再 任

1970年4月23日生（男性）

取締役会出席回数

19回／19回  
(100%)

取締役在任期間

9年

所有する当社株式の数

94,500株

■略歴、当社における地位及び担当並びに重要な兼職の状況

1994年4月 国土管理株式会社 入社  
 2001年3月 株式会社ネットマークス（現株式会社ユニアデックス） 入社  
 2007年7月 高島株式会社 入社  
 2008年2月 FXプライム株式会社（現GMOコイン株式会社） 入社  
 2011年4月 同社財務経理部長  
 2012年12月 同社経営管理部長  
 2013年6月 同社取締役  
 2017年1月 当社入社 経営管理部長  
 2017年10月 当社取締役  
 2021年12月 当社経営管理本部長（現任）  
 2026年1月 当社代表取締役（現任）

■取締役候補者とした理由

当社入社以来、財務・経理、法務・コンプライアンス等の経営管理部門における豊富な経験と幅広い知見にて、当社の体制強化に貢献しているため、当社の取締役会の意思決定、監督機能の実効性強化に期待し、引き続き取締役として選任をお願いするものであります。

候補者番号

3

み ず た ま さ み ち

水 田 正 道

再 任

社 外

独 立

1959年6月13日生（男性）

取締役会出席回数

18回／19回  
(95%)

社外取締役在任期間

5年5カ月

所有する当社株式の数

一株

■略歴、当社における地位及び担当並びに重要な兼職の状況

1984年4月 株式会社リクルート（現株式会社リクルートホールディングス） 入社  
 1988年7月 テンプスタッフ株式会社（現パーソルテンプスタッフ株式会社） 入社  
 1995年6月 同社取締役  
 2008年10月 テンプホールディングス株式会社（現パーソルホールディングス株式会社） 常務取締役  
 2010年6月 同社取締役副社長  
 2013年6月 同社代表取締役社長  
 2016年6月 同社代表取締役社長CEO  
 2021年4月 同社取締役会長（現任）  
 2021年6月 当社社外取締役（現任）

■社外取締役候補者とした理由及び期待される役割の概要

上場会社の経営者として長年企業経営に携わられており、企業経営の豊富な経験や知見を活かして、当社の社外取締役として当社経営に対して助言・提言をしていただくことを期待し、引き続き社外取締役として選任をお願いするものであります。

|                   |                   |                 |    |    |    |
|-------------------|-------------------|-----------------|----|----|----|
| 候補者番号<br><b>4</b> | ながしま<br><b>長島</b> | さとし<br><b>聡</b> | 再任 | 社外 | 独立 |
| 1968年11月25日生（男性）  |                   |                 |    |    |    |

取締役会出席回数

**19回／19回  
(100%)**

社外取締役在任期間

**4年4カ月**

所有する当社株式の数

**一株**

■略歴、当社における地位及び担当並びに重要な兼職の状況

1996年10月 株式会社ローランド・ベルガー 入社  
2014年 9 月 同社代表取締役日本共同代表  
2015年 9 月 同社代表取締役社長  
2019年 6 月 Roland Berger Holdings GmbH グローバル共同代表  
2020年 7 月 きづきアーキテクト株式会社 代表取締役  
2020年11月 由紀ホールディングス株式会社 社外取締役（現任）  
2022年 7 月 当社社外取締役（現任）  
2024年 8 月 きづきアーキテクト株式会社 取締役会長（現任）  
2024年11月 株式会社スマートドライブ 社外取締役（現任）

■社外取締役候補者とした理由及び期待される役割の概要

世界的大手コンサルティング会社の日本代表、グローバル共同代表を歴任し、企業経営の知見や豊富な経験を活かして、当社の社外取締役として当社経営に対して助言・提言をしていただくことを期待し、引き続き社外取締役として選任をお願いするものであります。

- (注) 1. 各候補者と当社との間には特別の利害関係はありません。
2. 水田正道氏及び長島聡氏は、社外取締役候補者であります。
3. 当社は水田正道氏及び長島聡氏と会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、同法第425条第1項に定める最低責任限度額といたします。両氏が再任された場合、当社は両氏との間で当該契約を継続する予定であります。
4. 当社は、水田正道氏及び長島聡氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。両氏が再任された場合、当社は両氏を引き続き独立役員として、同取引所に届け出る予定であります。
5. 当社は、保険会社との間で会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を締結しており、被保険者である当社取締役に対して提起された損害賠償請求にかかる損害賠償金や訴訟費用等を当該保険契約によって填補することとしており、保険料は全額当社が負担しております。ただし、被保険者が法令に違反することを認識しながら行った行為に起因する損害は填補されない等、一定の免責事由があります。各候補者が取締役を選任され就任した場合は、当該保険契約の被保険者となります。また、当該保険契約は次回更新時においても同内容での更新を予定しております。

以上

# 事業報告

(2025年8月1日から)  
(2026年7月31日まで)

## 1. 企業集団の現況

### (1) 当連結会計年度の事業の状況

#### ① 事業の経過及び成果

当社グループは、「マッチングで世界を変える」というミッションのもと、企業と企業の出会いのあり方を見直し、従来の産業構造では成し得なかった最適な出会いを提供することで、多くのイノベーションを生み出す産業のしくみを国内外に築き、産業全体の生産性を最大化するための連携のハブとなる企業を目指し、マッチングプラットフォームの運営を中心に事業を展開しております。

サービス内容としては、ニーズ起点のマッチングを手掛ける技術探索サービス「Linkers Sourcing」、シーズ起点のマッチングを手掛ける用途開拓サービス「Linkers Marketing」、SaaS型の金融機関向けマッチングシステム「Linkers for BANK」、及び事業会社向けマッチングシステム「Linkers for Business」の提供等による探索・マッチングサービスと、技術ニーズ・シーズの調査を手掛ける「Linkers Research」を中心としたリサーチサービスを主たるサービスとしております。

我が国経済は、雇用・所得環境の改善や設備投資の持ち直し等を背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、物価上昇が家計や企業活動に影響を及ぼす中、米国をはじめとする各国の通商政策を巡る不確実性や、それらを受けた海外経済の減速懸念、中東情勢をはじめとする地政学リスクの高まり、金融・為替市場の変動等により、先行きに対する不確実性の高い状況が続きました。特に、製造業を中心とする企業においては、人手不足への対応やデジタル化、省力化等を目的とした投資需要が継続する一方、事業環境の先行きに対する不透明感から、新規事業や研究開発を含む投資案件について、投資効果や実行時期を慎重に見極める動きも見られました。

当社グループが取り組む事業領域においては、企業の研究開発活動や新規事業・新技術創出に向けた取り組みは継続しており、製造業を中心とした技術探索・用途開拓ニーズ、地域金融機関における取引先企業支援ニーズ、及び技術・市場調査ニーズは引き続き存在しております。また、経済安全保障への対応やAI・デジタル技術の活用等を背景として、外部の技術・知見を活用する重要性も高まっているものと認識しております。一方で、先行き不透明感を背景とした企業の投資判断の慎重化に加え、生成AI等の普及に伴う情報収集・要約業務の内製化や

競合環境の変化等もあり、一部サービスにおいては顧客社内での検討・意思決定に時間を要し、新規受注獲得までのリードタイムが長期化する傾向が見られました。

このような事業環境のもと、当社グループは、中長期的な業容拡大と収益基盤の再構築に向け、既存サービスの営業体制及びカスタマーサクセス体制の強化、営業プロセスの見直し、既存プラットフォームの機能改善等を進めてまいりました。また、新規プロダクト「Linkers TX」については、2026年4月にサービスを開始し、顧客への提案活動や販売促進活動を本格化するなど、今後の成長に向けた事業基盤の整備に取り組んでまいりました。

既存事業においては、顧客満足度の向上及び継続取引の拡大を目的としてカスタマーサクセス体制の強化を進めるとともに、受注回復を図るため、営業人員の増強、営業活動プロセスの見直し及び提案活動の強化等に取り組んでまいりました。しかしながら、新たに採用した営業人員の戦力化には一定の期間を要したことに加え、新規顧客における検討プロセスの長期化等の影響もあり、当連結会計年度においては、営業体制強化による売上回復効果を十分に発現させるには至りませんでした。

また、「Linkers TX」については、サービスの具体的な機能及び導入効果を顧客に説明できる範囲が広がる中、営業活動を積極化した一方で、当該活動に営業リソースを投入したことにより、既存サービスの提案機会が相対的に限定される状況も生じました。こうした状況を踏まえ、「Linkers TX」の提案活動を担う専任体制の整備を進めるなど、営業リソースの最適化を図り、既存サービスの提案活動との両立に向けた営業体制の構築を進めております。

なお、当社元代表取締役に関する一連の事案の発生及び公表により、一部の新規案件において受注及び導入の遅れが生じましたが、当社は、新たな経営体制のもと、ガバナンス体制の強化を進め、事業の安定運営に取り組んでおります。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は1,353,363千円（前期比0.5%減）、営業損失は667,236千円（前期は営業損失457,988千円）、経常損失は665,864千円（前期は経常損失428,433千円）、親会社株主に帰属する当期純損失は672,256千円（前期は親会社株主に帰属する当期純損失548,214千円）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

(ア) ビジネスマッチング事業

「Linkers Sourcing」及び「Linkers Marketing」は、営業活動体制の改善、各種KPI等  
の見直し、営業プロセス管理の変更及び営業人員の採用強化等の各種施策に取り組みまし  
た。一方で、新規顧客における検討プロセスの長期化や、新たに採用した営業人員の戦力化  
に時間を要したことなどから、着手件数は82件（前期100件）と前期を下回って推移いた  
しました。

金融機関向けマッチングシステム「Linkers for BANK」及び事業会社向けマッチングシ  
ステム「Linkers for Business」からなる「LFB」は、既存導入先からの月額利用料等は概  
ね堅調に推移した一方で、新規導入については慎重な検討が続いたこと等から、当連結会計  
年度における新規導入はありませんでした。この結果、累計導入機関数は49機関（前期50  
機関）となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は930,108千円（前期比11.2%減）、セグメント損  
失は710,574千円（前期はセグメント損失407,169千円）となりました。

(イ) リサーチ事業

生成AIの普及による情報収集・要約業務の内製化及び競合環境の変化等による当社グルー  
プのサービス領域への影響は引き続き見られたものの、当社によるフィールドセールスの支  
援や、より顧客ニーズの高いカスタマイズ調査へのシフト等の各種施策に取り組みました。

また、顧客ニーズに応じた提案内容の見直しや既存顧客への営業活動を強化したことによ  
り、受注機会の拡大を図った結果、「Linkers Research」の調査件数は267件（前期228  
件）と前年を上回って推移いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は423,254千円（前期比35.2%増）、セグメント利  
益は43,337千円（前期はセグメント損失50,819千円）となりました。

② 設備投資の状況

当連結会計年度に実施した設備投資の総額は454,907千円となりました。セグメント別の  
内訳は、ビジネスマッチング事業が434,021千円、リサーチ事業が20,886千円となります。  
その主な内容は、本社移転に伴う建物附属設備等の取得及び各種サービスの機能追加等に伴う  
ソフトウェア開発によるものであります。

③ 資金調達の状況

当社は、運転資金の効率的な調達を目的として、取引金融機関 2 行と総額 400,000 千円の当座貸越契約を締結しております。また、当連結会計年度において、長期借入金により、株式会社りそな銀行から 156,000 千円、株式会社福井銀行から 500,000 千円をそれぞれ調達しております。

## (2) 直前3事業年度の財産及び損益の状況

### ① 企業集団の財産及び損益の状況

| 区 分                          | 第12期<br>(2023年7月期) | 第13期<br>(2024年7月期) | 第14期<br>(2025年7月期) | 第15期<br>(当連結会計年度)<br>(2026年7月期) |
|------------------------------|--------------------|--------------------|--------------------|---------------------------------|
| 売 上 高 (千円)                   | —                  | —                  | 1,360,735          | 1,353,363                       |
| 経 常 損 失 (△) (千円)             | —                  | —                  | △428,433           | △665,864                        |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純損失 (△) (千円) | —                  | —                  | △548,214           | △672,256                        |
| 1株当たり当期純損失<br>(△) (円)        | —                  | —                  | △39.78             | △48.47                          |
| 総 資 産 (千円)                   | —                  | —                  | 1,363,674          | 1,288,128                       |
| 純 資 産 (千円)                   | —                  | —                  | 1,117,754          | 465,498                         |
| 1株当たり純資産 (円)                 | —                  | —                  | 81.01              | 33.47                           |

(注) 当社では、第14期より連結計算書類を作成しております。そのため、第13期以前については記載しておりません。

## ② 当社の財産及び損益の状況

| 区 分                                              | 第12期<br>(2023年7月期) | 第13期<br>(2024年7月期) | 第14期<br>(2025年7月期) | 第15期<br>(当事業年度)<br>(2026年7月期) |
|--------------------------------------------------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------------------|
| 売 上 高 (千円)                                       | 1,607,768          | 1,464,541          | 1,091,766          | 970,321                       |
| 経 常 利 益 又 は<br>経 常 損 失 (△) (千円)                  | 80,223             | △124,130           | △334,645           | △684,673                      |
| 当 期 純 利 益 又 は<br>当 期 純 損 失 (△) (千円)              | 102,170            | △200,744           | △384,422           | △690,786                      |
| 1株当たり当期純利益<br>又 は 1 株 当 た り<br>当 期 純 損 失 (△) (円) | 7.70               | △14.62             | △27.89             | △49.80                        |
| 総 資 産 (千円)                                       | 2,083,161          | 1,845,589          | 1,521,215          | 1,395,166                     |
| 純 資 産 (千円)                                       | 1,843,059          | 1,657,768          | 1,281,546          | 610,759                       |
| 1株当たり純資産 (円)                                     | 135.14             | 120.59             | 92.89              | 43.92                         |

(注) 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)は、期中平均発行済株式総数に基づいて算出しております。

## (3) 重要な親会社及び子会社の状況

### ①親会社の状況

該当事項はありません。

### ②重要な子会社の状況

| 会 社 名          | 資 本 金     | 当社の<br>議決権比率 | 主要な事業内容 |
|----------------|-----------|--------------|---------|
| 株式会社リンカーズOI研究所 | 100,000千円 | 100%         | リサーチ事業  |

#### (4) 対処すべき課題

##### ① 収益基盤の拡充

当社グループの事業拡大のためには、サービスポートフォリオの拡充も課題の一つであると考えております。既存サービスにおいては、新たな機能の追加や利用企業層の開拓、提供エリアの拡大により収益機会の増加を図るとともに、既存サービスの強化及び新たなサービスの収益化を通じて、収益基盤の拡充を図ってまいります。

##### ② 収益性の改善及び黒字化に向けた取り組み

当社グループは、事業基盤の拡大に向けた新規プロダクトの開発、人材採用及び営業体制の強化等の先行投資を継続してきた一方、既存サービスの売上が計画を下回ったこと等により、複数事業年度にわたり営業損失及び当期純損失を計上しております。

このため、収益性の改善及び早期の黒字化を経営上の重要課題の一つと認識しており、今後は、当社グループの強みを有する事業領域への経営資源の集中を進めるとともに、既存サービスの収益力向上、「Linkers TX」等の重点事業の早期収益化、人員配置の最適化及び外部費用を含む固定費の適正化に取り組んでまいります。

また、各事業の売上高、顧客獲得状況その他の主要KPI及び投資対効果を継続的に検証し、事業計画の進捗に応じて投資及びコストの見直しを機動的に行うことにより、持続的に利益を創出できる事業構造への転換を図ってまいります。

##### ③ 技術力の拡充

当社グループは、ウェブサイトやシステムを活用したサービス運営を中心に事業展開しており、常に外部環境におけるIT技術の進化に注視しながら、技術力の向上に努めてまいります。また、優秀なエンジニアの確保など技術部門の強化を推進し、持続的に付加価値の高いサービスを提供できる体制の構築を図ってまいります。

##### ④ 優秀な人材の確保

当社グループは、今後の事業拡大に伴い、当社のミッションに共感し高い意欲を持った優秀な人材を継続的に確保していく必要があると考えております。採用力の向上に努めるとともに、業務環境や福利厚生の実、人材育成の強化等を通じて、従業員の定着及び活躍を促進してまいります。

⑤ 内部管理体制の強化

当社グループが継続的かつ安定的な事業運営を行うためには、事業規模及び組織規模に応じた適切な内部管理体制を構築することが重要であると認識しております。当社グループは、事業部門と、会計、法務、コンプライアンス、情報管理等を担うコーポレート部門との連携を強化するとともに、業務プロセスの整備及び内部統制システムの適切な運用を通じて、業務の適正性及び効率性の向上に取り組んでまいります。また、社内規程の整備・運用、役職員に対する教育等を継続し、法令遵守及びリスク管理体制の一層の強化を図ってまいります。

⑥ 当社サービスの認知度向上

当社グループが持続的な事業拡大を図るためには、提供するサービスのユーザビリティ及び品質の向上に加え、当社及び各サービスの認知度向上による新規顧客の拡大が重要であると考えております。当社では、展示会やセミナー活動等を通じた顧客開拓に加え、企業ロゴやブランドカラー等の刷新を行うなど、企業・サービスの認知度向上に向けた取り組みを進めてまいりました。今後も、費用対効果を十分に見極めながら、各種マーケティング施策及びブランドの浸透を通じて、認知度の向上及び顧客基盤の拡大に取り組んでまいります。

⑦ マッチング精度の向上

当社グループのビジネスマッチング事業においては、産業コーディネーター並びに候補企業の確保とともに、精度の高いマッチング技術の構築が重要であると認識しております。技術への知見が高い産業支援機関等の外部パートナーとの連携を強化するとともに、これまで培ってきたマッチングノウハウやAI等の技術を活用し、より精度の高いマッチングを提供できるよう努めてまいります。

⑧ システムの安定性の確保

当社グループの主要事業においては、インターネット上でサービスを提供しており、安定した事業運営を行うためには、ウェブサイト及び各種システムのセキュリティ並びに開発・運用保守体制の整備が極めて重要であると認識しております。今後も、システムの安定性及び可用性の確保に取り組み、市場環境や事業規模の変化に対応した運用体制の整備を継続してまいります。

⑨ 情報管理体制の強化

当社グループは、公開前の事業戦略や製品企画などの機密情報や個人情報等を保有しており、その管理体制の重要性について十分に認識しております。社内規程の適切な運用、定期的な社内教育の実施、情報セキュリティマネジメントシステムの維持・向上等を通じて、引き続き情報管理体制の強化を図ってまいります。

⑩ 経営体制及びガバナンス体制の強化

当社グループが持続的な成長及び企業価値の向上を実現するためには、経営環境の変化に迅速かつ適切に対応できる経営体制を構築するとともに、経営の透明性、客観性及び健全性を確保することが重要であると認識しております。当社は、権限分散及び牽制機能の強化を進め、特定の個人に過度に依存しない経営体制の構築を図るとともに、取締役会をはじめとする各機関の監督機能及び意思決定プロセスの実効性向上に取り組んでまいります。また、コーポレート・ガバナンス体制の継続的な見直し及び強化を通じて、持続的かつ安定的な経営基盤の構築に努めてまいります。

(5) 主要な事業内容（2026年7月31日現在）

| 事業区分            | サービス                                            | 事業内容                                                                                                    |
|-----------------|-------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ビジネス<br>マッチング事業 | Linkers Sourcing                                | 発注者のニーズと、ものづくりに特化した有力企業・団体とを引き合わせる技術探索サービス                                                              |
|                 | Linkers Marketing                               | 発注企業の持つ技術・製品シーズの用途仮説の構築を行いながら、当該仮説を解決する技術を保有する会社との面談機会創出の支援を行う技術・製品の用途開拓サービス                            |
|                 | LFB (Linkers for BANK/<br>Linkers for Business) | SaaS型ビジネスマッチングシステムとして金融機関向けには「Linkers for BANK」を、事業会社向けには「Linkers for Business」を提供しているサービス              |
|                 | Linkers Trading                                 | 当社が保有する独自ネットワーク・システムを活用した、最適な調達・購買先の探索並びに調達支援等を行うサービス                                                   |
|                 | Linkers Promotion<br>(旧 TechMesse<br>Academy)   | 企業が手掛ける知識やノウハウなどを「伝える」「学ぶ」をコンセプトに、企業が保有する技術やサービスのプロモーション活動を支援する集客型のイベント運営サービス                           |
|                 | Linkers Trend Map                               | 数万件に及ぶ論文や特許情報をAIと専門調査員の知見を活用して分析・可視化、研究開発や事業企画に役立つ技術インサイトを提供するサービス                                      |
| リサーチ事業          | Linkers TX                                      | 独自の技術情報データベースやAI、法人ネットワークを活用し、技術トレンドの調査から技術パートナー候補の探索、マッチングまでを一つのプラットフォーム上で提供する、研究開発及び事業化を支援するSaaS型サービス |
|                 | Linkers Research                                | 企業が新規事業やマーケティングを行う際に直面する課題、情報の取得困難性に対して、技術専門性のあるリサーチャーがアウトプットを提供するサービス                                  |
|                 | Linkers Research Clip                           | 調査横断のテキスト検索や、社内の技術情報への興味可視化など、調査結果を活用することが可能なWebアプリであり、「Linkers Research」にて作成したレポート等を簡単に社内共有できるサービス     |

(6) 主要な営業所 (2026年7月31日現在)

① 当社

| 名 | 称 | 所     | 在 | 地 |
|---|---|-------|---|---|
| 本 | 社 | 東京都港区 |   |   |

(注) 当社は2025年11月27日に、本店所在地を東京都港区へ変更いたしました。

② 子会社

| 名             | 称 | 所     | 在 | 地 |
|---------------|---|-------|---|---|
| (株)リンカーズOI研究所 |   | 東京都港区 |   |   |

(注) 子会社は2025年11月27日に、本店所在地を東京都港区へ変更いたしました。

## (7) 使用人の状況（2026年7月31日現在）

### ① 企業集団の使用人の状況

| 事業区分        | 使用人数    | 前連結会計年度末比増減 |
|-------------|---------|-------------|
| ビジネスマッチング事業 | 67（9）名  | 5名増（増減なし）   |
| リサーチ事業      | 21（－）   | 2名減（増減なし）   |
| 全社（共通）      | 17（13）  | 増減なし（10名増）  |
| 合計          | 105（22） | 3名増（10名増）   |

（注）使用人数は就業人員であり、臨時雇用者数（アルバイト（1日8時間換算）及び人材会社からの派遣社員を含む）は、最近1年間の平均人員を外数で記載しております。

### ② 当社の使用人の状況

| 使用人数    | 前事業年度末比増減 | 平均年齢  | 平均勤続年数 |
|---------|-----------|-------|--------|
| 84（12）名 | 5名増（増減なし） | 39.4歳 | 3年6ヵ月  |

（注）使用人数は就業人員（当社から社外への出向者を除き、社外から当社への出向者を含む）であり、臨時雇用者数（アルバイト（1日8時間換算）及び人材会社からの派遣社員を含む）は、最近1年間の平均人員を外数で記載しております。

## (8) 主要な借入先の状況（2026年7月31日現在）

| 借入先       | 借入額       |
|-----------|-----------|
| 株式会社福井銀行  | 441,669千円 |
| 株式会社りそな銀行 | 112,670千円 |

## (9) その他会社の現況に関する重要な事項

当社は、2025年11月27日付で、本店を東京都港区三田三丁目5番19号に移転いたしました。これに伴い、登記上の本店所在地も変更しております。

## 2. 株式の状況（2026年7月31日現在）

(1) 発行可能株式総数 49,080,000株

(2) 発行済株式の総数 13,907,000株

（注）譲渡制限付株式の発行及び第5回新株予約権の行使により、発行済株式の総数は110,000株増加しております。

(3) 株主数 4,043名

(4) 大株主（上位10名）

| 株主名                         | 持株数        | 持株比率   |
|-----------------------------|------------|--------|
| 前田佳宏                        | 2,768,500株 | 19.90% |
| 合同会社 SAKUNANA               | 2,500,000株 | 17.97% |
| SBI AI&Blockchain投資事業有限責任組合 | 1,270,000株 | 9.13%  |
| 加福秀互                        | 859,500株   | 6.18%  |
| 京侑株式会社                      | 600,000株   | 4.31%  |
| 松枝哲雄                        | 170,000株   | 1.22%  |
| 株式会社 SBI証券                  | 161,300株   | 1.15%  |
| 西川龍一郎                       | 154,200株   | 1.10%  |
| 株式会社日経ビープー                  | 148,000株   | 1.06%  |
| 楽天証券株式会社共有口                 | 147,700株   | 1.06%  |

- （注） 1. 当社は、自己株式を保有しておりません。  
2. 合同会社SAKUNANAは、前田佳宏氏が株式を保有する資産管理会社であります。  
3. 京侑株式会社は、前田佳宏氏の親族が株式を保有する資産管理会社であります。  
4. 持株比率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

**(5) 当事業年度中に職務執行の対価として当社役員に対し交付した株式の状況**

当事業年度中に交付した株式報酬の内容は次のとおりであります。

当社は、取締役（社外取締役を除く。）３名に対して譲渡制限付株式の付与のため、2025年11月14日付で普通株式100,000株を発行いたしました。

|               | 株式数      | 交付対象者数 |
|---------------|----------|--------|
| 取締役（社外取締役を除く） | 100,000株 | 3名     |

（注）交付対象者には、当事業年度中に退任した取締役１名（50,000株）を含んでおります。

**(6) その他株式に関する重要な事項**

該当事項はありません。

### 3. 新株予約権等の状況

#### (1) 当事業年度の末日において当社役員が保有している職務執行の対価として交付された新株予約権の状況

|                                 |                     | 第 1 回 新 株 予 約 権                            | 第 1 0 回 新 株 予 約 権                          |
|---------------------------------|---------------------|--------------------------------------------|--------------------------------------------|
| 発 行 決 議 日                       |                     | 2012年4月1日                                  | 2018年5月2日                                  |
| 新 株 予 約 権 の 数                   |                     | 33個                                        | 34個                                        |
| 新株予約権の目的となる株式の種類と数<br>(注) 3     |                     | 普通株式 33,000株<br>(新株予約権1個につき 1,000株)        | 普通株式 34,000株<br>(新株予約権1個につき 1,000株)        |
| 新 株 予 約 権 の 払 込 金 額             |                     | 新株予約権と引換えに払い込みは要しない                        | 新株予約権と引換えに払い込みは要しない                        |
| 新株予約権の行使に際して出資される財産の価額<br>(注) 3 |                     | 新株予約権1個当たり 10,000円<br>(1株当たり 10円)          | 新株予約権1個当たり 350,000円<br>(1株当たり 350円)        |
| 権 利 行 使 期 間                     |                     | 2014年4月11日から<br>2032年3月10日まで               | 2020年5月8日から<br>2028年4月7日まで                 |
| 行 使 の 条 件                       |                     | (注) 1                                      | (注) 2                                      |
| 役 員 の<br>保有状況                   | 取 締 役<br>(社外取締役を除く) | 新株予約権の数 一個<br>目的となる株式数 一株<br>保有者数 一名       | 新株予約権の数 34個<br>目的となる株式数 34,000株<br>保有者数 1名 |
|                                 | 社 外 取 締 役           | 新株予約権の数 一個<br>目的となる株式数 一株<br>保有者数 一名       | 新株予約権の数 一個<br>目的となる株式数 一株<br>保有者数 一名       |
|                                 | 監 査 役               | 新株予約権の数 33個<br>目的となる株式数 33,000株<br>保有者数 1名 | 新株予約権の数 一個<br>目的となる株式数 一株<br>保有者数 一名       |

(注) 1. ①本新株予約権の割当てを受けた者は、発行された権利の一部又は全部を行使することが可能となる（ただし、1個の本新株予約権を更に分割して行使することはできない）。なお、行使可能な株式数が、1単位の株式数の整数倍でない場合は、端数を切り上げ、1単位の整数倍とする。

②本新株予約権は、発行時に割当てを受けた新株予約権者において、これを行使することを要する。ただし、相続により本新株予約権を取得した場合はこの限りでない。

2. ①新株予約権の割当を受けた者（以下、「新株予約権者」という）は、権利行使時においても、当社又は当社子会社の取締役、監査役、従業員の地位を有していなければならない。ただし、新株予約権者が任期満了により退任又は定年退職した場合、あるいは取締役会が正当な理由があると認めた場合はこの限りではない。
- ②当社の普通株式が、いずれかの金融商品取引所に上場されていること。ただし、取締役会が認めた場合にはこの限りではない。
- ③新株予約権者が死亡した場合、その相続人による新株予約権の権利行使は認めないものとする。
- ④本新株予約権で定める権利行使可能期間のうち、付与決議の日後2年を経過した日から付与決議の日後10年を経過する日までの期間内に行わなければならないものとする。なお、本新株予約権の定めにおいて付与決議とは、割当新株予約権にかかる会社法第238条第2項の決議（同法第239条第1項の決議による委任に基づく同項に規定する募集事項の決定及び同法第240条第1項の規定による取締役会の決議を含む）を意味するものとする。
- ⑤新株予約権（当社が新株予約権者に対して付与する租税特別措置法第29条の2の規定を受ける他の新株予約権を含む）の行使に係る行使価額の年間（1月1日から12月31日まで）の合計額が1,200万円を超えないこと。
3. 2021年11月12日で株式1株につき100株の割合で株式分割を行っており、また、2022年7月2日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。これにより「新株予約権の目的となる株式の種類と数」及び「新株予約権の行使に際して出資される財産の価額」が調整されております。

**(2) 当事業年度中に職務執行の対価として使用人等に対し交付した新株予約権の状況**

該当事項はありません。

**(3) その他新株予約権に関する重要な事項**

該当事項はありません。

## 4. 会社役員の状況

### (1) 取締役及び監査役の状況（2026年7月31日現在）

| 会社における地位      | 氏 名                   | 担 当 及 び 重 要 な 兼 職 の 状 況                                           |
|---------------|-----------------------|-------------------------------------------------------------------|
| 代 表 取 締 役 社 長 | 加 福 秀 互               | イノベーション推進事業本部長<br>株式会社リンカーズOI研究所 取締役                              |
| 代 表 取 締 役     | 江 頭 宏 一               | 経営管理本部長                                                           |
| 取 締 役         | 水 田 正 道               | パーソルホールディングス株式会社 取締役会長                                            |
| 取 締 役         | 長 島 聡                 | きづきアーキテクト株式会社 取締役会長<br>由紀ホールディングス株式会社 社外取締役<br>株式会社スマートドライブ 社外取締役 |
| 常 勤 監 査 役     | 梅 川 栄 吉               | 株式会社リンカーズOI研究所 監査役                                                |
| 監 査 役         | 保 田 隆 明               | 慶應義塾大学総合政策学部 教授<br>サツドラホールディングス株式会社 社外取締役                         |
| 監 査 役         | 江 尻 琴 美<br>(戸籍名:鶴田琴美) | 敬和綜合法律事務所 パートナー<br>株式会社メイコー 社外監査役<br>株式会社J S H 社外取締役              |

- (注) 1. 取締役水田正道氏及び取締役長島聡氏は、社外取締役であります。
2. 常勤監査役梅川栄吉氏、監査役保田隆明氏及び監査役江尻琴美氏は、社外監査役であります。
3. 取締役水田正道氏は、上場会社の経営者として長年企業経営に携わっており、企業経営の豊富な経験や知見を有しております。
4. 取締役長島聡氏は、世界的大手コンサルティング会社の日本代表、グローバル共同代表を歴任し、企業経営の知見と豊富な経験を有しております。
5. 常勤監査役梅川栄吉氏は、上場企業並びにその関連会社での役員を歴任し、経営に関する相当程度の知識を有しております。
6. 監査役保田隆明氏は、大学教授として培われた会社経営に関する専門的な知見や、複数の上場企業で社外取締役を務めており、経営全般に幅広い見識を有しております。
7. 監査役江尻琴美氏は、弁護士として培われた専門的な法務及びコンプライアンスに対する知見を有しております。
8. 2026年2月6日をもって、前田佳宏氏は取締役を辞任いたしました。なお、退任時における担当はありませんでした。
9. 当社は、社外取締役及び社外監査役の全員を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

## (2) 責任限定契約の内容の概要

当社と各社外取締役及び各社外監査役は、会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。

当該契約に基づく損害賠償責任限度額は、法令が定める最低責任限度額としております。

## (3) 役員等賠償責任保険契約の内容の概要等

当社は、会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結しております。当該保険契約の被保険者の範囲は当社の取締役及び監査役等であり、保険料は全額当社が負担しております。当該保険契約により保険期間中に被保険者に対して提起された損害賠償請求にかかる損害賠償金や訴訟費用等が填補されることとなります。

ただし、被保険者の職務の執行の適正性が損なわれないようにするため、当該被保険者が法令違反の行為であることを認識して行った行為に起因して生じた損害の場合には填補の対象とならないなど、一定の免責事由を設けております。

## (4) 取締役及び監査役の報酬等

### ① 当事業年度に係る報酬等の総額等

| 区 分                      | 報酬等の総額<br>(千円)     | 報酬等の種類別の総額 (千円)    |                        |               | 対象となる<br>役員の員数<br>(名) |
|--------------------------|--------------------|--------------------|------------------------|---------------|-----------------------|
|                          |                    | 基 本 報 酬            | 業 績 連 動 報 酬<br>( 賞 与 ) | 譲渡制限付<br>株式報酬 |                       |
| 取 締 役<br>(う ち 社 外 取 締 役) | 76,553<br>(8,400)  | 67,650<br>(8,400)  | －<br>(－)               | 8,903<br>(－)  | 5<br>(2)              |
| 監 査 役<br>(う ち 社 外 監 査 役) | 15,000<br>(15,000) | 15,000<br>(15,000) | －<br>(－)               | －<br>(－)      | 3<br>(3)              |
| 合 計<br>(う ち 社 外 役 員)     | 91,553<br>(23,400) | 82,650<br>(23,400) | －<br>(－)               | 8,903<br>(－)  | 8<br>(5)              |

(注) 上表には、2026年2月6日付で退任した取締役1名を含んでおります。

### ② 取締役及び監査役の報酬等についての株主総会の決議に関する事項

当社役員の報酬等の額は、2017年7月3日の臨時株主総会において、取締役については賞与を含めた1事業年度あたりの取締役の報酬等の年額を150,000千円以内、監査役については同30,000千円以内とそれぞれ決議されております。なお、当該決議日時点の取締役の員数は3名（うち社外取締役0名）、監査役の員数は1名（うち社外監査役1名）であります。

また、上記報酬等のほか、2025年10月24日開催の第14期定時株主総会において、当社の

取締役（社外取締役を除く）を対象として、報酬限度額（年額30,000千円以内）及び上限株式数（年100,000株以内）の範囲内とする譲渡制限付株式の付与を決議しており、当該決議日時点において、これらの限度額に基づく報酬等の支給対象となる役員は、取締役3名であります。

③ 役員報酬等の内容の決定に関する方針等

当社は、2025年10月24日開催の取締役会において、取締役の個人別の報酬等の内容に係る決定方針を決議しております。当該取締役会の決議に際しては、あらかじめ決議する内容について社外役員に諮り、意見を聴取しております。

また、取締役会は、当事業年度に係る取締役の個人別の報酬等について、報酬等の内容の決定方法及び決定された報酬等の内容が取締役会で決議された決定方針と整合していることを確認しており、当該決定方針に沿うものであると判断しております。

取締役の個人別の報酬等の内容に係る決定方針の内容の概要は次のとおりであります。

（ア）固定報酬

取締役の固定報酬は月例の固定金銭報酬とし、各取締役の報酬の額については、2025年10月24日に定めた「役員報酬設計方針」及び「役員報酬（内規）」に基づき職務の内容や責任及び成果等を総合的に勘案するとともに、社外取締役及び社外監査役の意見を踏まえた上で、取締役会において決定しております。

（イ）業績連動報酬（役員賞与）

取締役の業績連動報酬（役員賞与）は、取締役に業績向上へのインセンティブを付与することを目的としております。支給要件は、賞与計上前営業利益が予算を超過した場合とし、支給要件を満たした場合には、取締役会の決議に基づき、代表取締役社長に各取締役に対する具体的な支給額の決定を委任することとしております。

なお、代表取締役社長は、具体的な支給額の決定に当たり、配分方法等についてあらかじめ取締役会に諮り、その協議内容を尊重することとしております。当事業年度においては営業損失を計上したことから、業績連動報酬は支給しておりません。

（ウ）譲渡制限付株式報酬（非金銭報酬等）

取締役の譲渡制限付株式報酬（非金銭報酬等）は、当社の取締役が、当社の企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを付与されるとともに、株主の皆さまと一層の価値共有を進めることを目的とし、各取締役への割当株式数は、取締役会において決定のうえ、毎年一定の時期に支給するものとしております。

なお、各監査役の報酬額については、株主総会で定められた報酬限度内において、監査役の協議により決定しております。

④ 取締役の個人別の報酬等の決定に係る委任に関する事項

当事業年度に係る各取締役の固定報酬については、2025年10月24日開催の取締役会において決議した「役員報酬設計方針」及び「役員報酬（内規）」に基づき、各取締役の役位、職責、当社の業績及び同業他社の水準等を総合的に勘案し、独立社外取締役等の意見を踏まえた上で、取締役会において個別の報酬額を決定しております。

また、業績連動報酬（役員賞与）については、支給要件を満たした場合には、取締役会の決議に基づき、代表取締役社長に各取締役に対する具体的な支給額の決定を委任することとしておりましたが、当事業年度においては営業損失を計上し、支給要件を満たさなかったことから業績連動報酬は支給しておらず、当該支給額の決定に係る権限の委任も行っておりません。

**(5) 社外役員に関する事項**

① 他の法人等の重要な兼職の状況及び当社と当該他の法人等との関係

- ・ 社外取締役水田正道氏は、パーソルホールディングス株式会社の取締役会長であります、当社と兼職先との間に特別な関係はありません。
- ・ 社外取締役長島聡氏は、きづきアーキテクト株式会社の取締役会長、由紀ホールディングス株式会社の社外取締役及び株式会社スマートドライブの社外取締役であります、当社と各兼職先との間に特別な関係はありません。
- ・ 社外監査役保田隆明氏は、慶應義塾大学総合政策学部の教授及びサツドラホールディングス株式会社の社外取締役であります、当社と各兼職先との間には特別な関係はありません。
- ・ 社外監査役江尻琴美氏は、敬和総合法律事務所のパートナー、株式会社メイコーの社外監査役及び株式会社 J S H の社外取締役であります、当社と各兼職先との間に特別な関係はありません。

② 当事業年度における主な活動状況

|            | 出席状況、発言状況及び社外取締役に期待される役割に関して行った職務の概要                                                                                                                            |
|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 社外取締役 水田正道 | <p>当事業年度に開催された取締役会19回のうち、18回に出席いたしました。</p> <p>上場企業並びにその関連会社での社長を歴任し、多様な企業経営に関する幅広い知識と経験を有しており、取締役会において議案審議等に必要な発言を行っており、意思決定の妥当性・適正性を確保するための適切な役割を果たしております。</p> |
| 社外取締役 長島聡  | <p>当事業年度に開催された取締役会19回の全てに出席いたしました。</p> <p>コンサルティング会社の日本代表、グローバル共同代表を歴任し、企業経営の知見や豊富な経験から、取締役会において議案審議等に必要な発言を行っており、意思決定の妥当性・適正性を確保するための適切な役割を果たしております。</p>       |
| 社外監査役 梅川栄吉 | <p>当事業年度に開催された取締役会19回の全てに、また、監査役会14回の全てに出席いたしました。</p> <p>上場企業並びにその関連会社での役員を歴任し、経営に関する相当程度の知識を有しており、取締役会並びに監査役会での意思決定の妥当性・適正性を確保するための発言を適宜行っております。</p>           |
| 社外監査役 保田隆明 | <p>当事業年度に開催された取締役会19回のうち18回に、また、監査役会14回のうち13回に出席いたしました。</p> <p>大学教授としての専門性や会社経営全般に関して豊富な経験と幅広い見識を有しており、取締役会並びに監査役会での意思決定の妥当性・適正性を確保するための発言を適宜行っております。</p>       |
| 社外監査役 江尻琴美 | <p>当事業年度に開催された取締役会19回の全てに、また、監査役会14回の全てに出席いたしました。</p> <p>弁護士としての専門的な知識やコンプライアンスに対する知見を有しており、取締役会並びに監査役会での意思決定の妥当性・適正性を確保するための発言を適宜行っております。</p>                  |

## 5. 会計監査人の状況

### (1) 名称

太陽有限責任監査法人

### (2) 報酬等の額

|                                     | 報 酬 等 の 額 |
|-------------------------------------|-----------|
| 当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額                 | 23,000千円  |
| 当社及び子会社が会計監査人に支払うべき金銭その他の財産上の利益の合計額 | 23,000千円  |

- (注) 1. 当社と会計監査人との間の監査契約において、会社法に基づく監査と金融商品取引法に基づく監査の監査報酬等の額を明確に区分しておらず、実質的にも区分できませんので、当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額にはこれらの合計額を記載しております。
2. 監査役会は、会計監査人の監査計画の内容、会計監査の職務遂行状況及び報酬見積りの算出根拠などが適切であるかどうかについて必要な検証を行ったうえで、会計監査人の報酬等の額は適切であると判断し、会社法第399条第1項の同意を行っております。

### (3) 非監査業務の内容

該当事項はありません。

### (4) 会計監査人の解任又は不再任の決定の方針

監査役会は、会計監査人の職務の執行に支障がある場合等、その必要があると判断した場合は、株主総会に提出する会計監査人の解任又は不再任に関する議案の内容を決定いたします。

監査役会は、会計監査人が会社法第340条第1項各号に定める項目に該当すると認められる場合は、監査役全員の同意に基づき会計監査人を解任いたします。この場合、監査役会が選定した監査役は、解任後最初に招集される株主総会において、会計監査人を解任した旨と解任の理由を報告いたします。

### (5) 責任限定契約の内容の概要

該当事項はありません。

### (6) 補償契約の内容の概要等

該当事項はありません。

## 6. 業務の適正を確保するための体制及び当該体制の運用状況

### (1) 業務の適正を確保するための体制についての決定内容の概要

取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他会社の業務の適正を確保するための体制についての決定内容の概要は以下のとおりであります。

#### ① 取締役及び使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

- (ア) 取締役及び従業員は社会の一員として企業倫理・社会規範に則した行動を行い、健全な企業運営に努める。また、コンプライアンス規程その他の社内規程を定め、企業倫理・法令遵守を周知徹底する。
- (イ) 取締役会規程に基づき取締役会を定期的開催し、経営に関する重要な業務執行を審議決議するとともに、他の取締役の職務の執行を相互に監督する。
- (ウ) 取締役会は、取締役会規程、組織・職務権限規程等の職務の執行に関する規程を制定し、取締役及び従業員は法令・定款及び定められた規程に従い、業務を執行する。
- (エ) 業務の適正化と経営の透明性等を確保するため、社外取締役による経営の監督機能の強化を行う。
- (オ) 取締役の職務の執行に関する法令及び定款への適合性に関して、監査役監査規程に基づく監査役監査の実施により確認する。
- (カ) 他の業務執行部門から独立した組織である内部監査室は、内部監査規程に基づき内部監査を実施する。その結果は、被監査部門にフィードバックされるとともに、取締役会及び常勤監査役に報告する。また、必要かつ適正な是正処置を行うものとする。
- (キ) リスク・コンプライアンス委員会を設置し、通常のリスク評価とともに、コンプライアンス規程に従い定期的に社内のコンプライアンス体制及び遵守状況について確認する。
- (ク) 社内における不正行為の早期発見又は相談と不祥事等の未然防止のための適正な処理の仕組みとして、内部通報規程に基づき内部通報制度「リンカーズ・ヘルプライン」を設置する。
- (ケ) 業務執行の適正を確保するために、反社会的勢力及び団体からの不当な要求には民事及び刑事の両面から法的対応を行うとともに、反社会的勢力及び団体への資金提供は絶対に行わないものとする。

② 取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制

(ア) 株主総会及び取締役会の議事録等の情報は、法令及び文書管理規程に基づき、保存及び管理する。保管期間中は必要に応じて取締役、監査役、会計監査人などが閲覧、複写可能な状態とする。

(イ) 情報セキュリティ管理規程を制定し、情報資産の保護・管理を行う。

③ 損失の危険の管理に関する規程その他の体制

(ア) 自然災害や企業不祥事等、会社、従業員、社会に影響を及ぼす問題の発生に備え、リスク管理規程に基づき、事業継続計画を始めとしたリスク管理体制を構築、運用する。

(イ) リスク・コンプライアンス委員会にて、個別リスクの把握と評価、対応すべき優先度、リスク管理方法等を審議するとともに、定期的なモニタリングを行い体制の整備、見直しを行う。

(ウ) 事業活動上の重大な事態が発生した場合には、対策本部を設置し迅速な対応を行い、被害及び損失の拡大を防止し、これを最小限にとどめるための体制を整備する。

④ 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

(ア) 取締役会は経営計画、予算等を決定し、業績及び目標達成状況のレビューを行うために、毎月1回取締役会を開催するほか、必要に応じて適宜臨時に開催する。

(イ) 代表取締役社長による総括管理のもと、管掌役員制を採用する。各管掌取締役は、法令、定款、社内規程及び社内基準に従い、管掌領域の経営を行う。また、管掌ごとに、主要な予算を設定し、定期的に予算の達成度を検証することにより経営管理を行う。

(ウ) 取締役は、緊密に意見交換を行い、情報共有を図ることにより、効率的、機動的かつ迅速に業務を執行する。

(エ) 業務執行に関する責任者及びその責任範囲、手続については、組織・職務権限規程その他の社内規程に定めるところによる。

⑤ 当社並びに親会社及び子会社から成る企業集団における業務の適正を確保するための体制

(ア) 関係会社管理規程に基づき、主要な子会社の重要な決議事項は事前に当社取締役会にて審議承認を行う。

(イ) 子会社の規程は、原則として当社規程を準用するものとする。必要に応じて、適宜マニュアルを整備・運用するものとし、各社の状況に応じたリスクマネジメント体制を構築するものとする。

- (ウ) 当社のリスク・コンプライアンス委員会は、子会社の事業を取り巻く様々なリスクの顕在化の未然防止又は最小化のために、リスク管理規程に基づきリスクの把握及び適切な対策を講じる。
- (エ) 子会社の取締役及び監査役には、原則として当社の取締役、監査役、従業員を構成員に含めることにより企業集団内の情報伝達を推進し、当社及び子会社全体の業務の効率的な遂行を確保する。
- ⑥ 監査役がその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合における当該従業員に関する事項、並びに当該従業員の取締役会からの独立性及び監査役の当該従業員に対する指示の実効性の確保に関する事項
- (ア) 監査役が必要とした場合、取締役は監査役と補助すべき人数、資格等を協議の上、従業員を監査役の補助にあたらせる。選任された従業員は、監査役からの指揮命令を優先するものとする。
- (イ) 当該従業員の人事異動、評価、懲戒等に関しては、監査役会の意見を尊重した上で行うものとする。
- ⑦ 取締役及び従業員が監査役に報告をするための体制、その他の監査役への報告に関する体制
- (ア) 監査役は、その職務を遂行するために必要と判断するときはいつでも当社及び子会社の取締役及び従業員に報告を求めることができる。
- (イ) 監査役は、監査計画に従って取締役会のほか各種社内委員会その他の重要な会議に出席し、取締役等からその職務の執行状況を聴取し関係資料を閲覧することができる。
- (ウ) 取締役その他役職者は、定期的に、自己の職務執行の状況を監査役に報告する。
- (エ) 取締役は監査役に対して、法令が定める事項の他、次に掲げる事項をその都度直ちに報告する。
- ・財務及び事業に重大な影響を及ぼすおそれのある決定等の内容
  - ・業績及び業績見通しの内容
  - ・内部監査の内容及び結果
  - ・内部情報提供制度に基づく情報提供の状況
  - ・行政処分の内容
  - ・前各号に掲げるもののほか、監査役が求める事項

(オ) 当社及び子会社の取締役並びに従業員は、当社に著しい損害を及ぼすおそれがある事実や重大な法令又は定款違反事実を認めた場合には、監査役に対して直接報告することができる。

(カ) 前項の報告をした者が、当該報告をしたことを理由として不利な取扱いを受けない体制を確保する。

⑧ その他監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制

(ア) 監査役は、会計監査人、内部監査担当と情報交換に努め、連携して当社及び子会社の監査の実効性を確保するものとする。

(イ) 監査役は、代表取締役社長との定期的な意見交換を行い、取締役会等の重要な会議体への出席により、経営方針、経営課題についての意思疎通を図り、効果的な監査業務の遂行を図る。

(ウ) 監査役は監査業務に必要と判断した場合には、会社の費用負担にて弁護士、公認会計士、その他専門家の意見を聴取することができる。

⑨ 財務報告の適正性を確保するための体制

(ア) 当社は、財務報告の信頼性を確保し、適正な財務情報を開示していくために、財務報告に係る内部統制が有効に機能するための体制の構築、整備、運用を行う。

(イ) 財務報告における不正や誤謬が発生するリスクを管理し、業務執行の適正化を推進するとともに、財務報告に係る社内規程の適切な整備及び運用を行う。

(ウ) 財務報告に係る内部統制の仕組みが適正かつ有効に機能することを継続的に監視及び評価し、不備があれば必要な改善及び是正を行うとともに、関連法令との適合性を確保する。

⑩ 反社会的勢力排除に向けた基本的な考え方、及びその整備状況

(ア) 当社は、社会の秩序や企業の健全な活動に脅威をもたらす反社会的勢力及びこれに類する団体とは取引先も含めて一切の関係をもたず、反社会的勢力からの不当要求等に対しては、外部専門機関等と連携し、毅然とした姿勢で対応しなければならない。

(イ) 当社は、反社会的勢力に対して、反社会的勢力対応規程並びに反社会的勢力排除対応マニュアルを基に対応を行う。

## **(2) 業務の適正を確保するための体制の運用状況の概要**

当社は、2021年10月27日開催の取締役会にて内部統制システムの基本方針について決議し、当該方針に基づいて内部管理体制の整備、運用を行っております。

業務の適正を確保するための体制の運用については、取締役会において相互に業務執行を監視しており、また監査役は取締役会やその他社内の重要な会議に出席し、業務執行の状況やリスク管理について不適切な点がないか検証しております。

また、内部監査担当により各部署の内部監査を行っており、運用状況に不適切な点がないか独立した立場で監視しております。

## **7. 会社の支配に関する基本方針**

該当事項はありません。

## **8. 剰余金の配当等に関する方針**

当社は、株主に対する利益還元を経営課題と認識しており、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況を勘案し、利益還元政策を決定していく方針であります。しかしながら、現時点においては、収益力の強化及び事業基盤の整備を優先すべき段階にあることから、創業以来配当を行っておりません。

今後の配当政策の基本方針としては、収益力の強化や事業基盤の整備を進めつつ、内部留保の充実状況及び企業を取り巻く事業環境等を勘案した上で、株主に対して安定的かつ継続的な利益還元を実施する方針であります。

# 連結貸借対照表

(2026年7月31日現在)

(単位：千円)

| 科 目               | 金 額       | 科 目           | 金 額       |
|-------------------|-----------|---------------|-----------|
| (資 産 の 部)         |           | (負 債 の 部)     |           |
| 流 動 資 産           | 694,079   | 流 動 負 債       | 420,282   |
| 現 金 及 び 預 金       | 467,111   | 1年内返済予定の長期借入金 | 155,344   |
| 売 掛 金             | 130,802   | 未 払 金         | 80,624    |
| 仕 掛 品             | 9,279     | 未 払 費 用       | 53,957    |
| 前 渡 金             | 2,848     | 未 払 法 人 税 等   | 5,390     |
| 前 払 費 用           | 48,908    | 前 受 金         | 45,292    |
| そ の 他             | 35,128    | 預 り 金         | 10,369    |
| 固 定 資 産           | 594,049   | 賞 与 引 当 金     | 54,894    |
| 有 形 固 定 資 産       | 137,090   | そ の 他         | 14,409    |
| 建 物               | 103,363   | 固 定 負 債       | 402,347   |
| 工 具 、 器 具 及 び 備 品 | 33,727    | 長 期 借 入 金     | 402,347   |
| 無 形 固 定 資 産       | 347,166   | 負 債 合 計       | 822,629   |
| ソ フ ト ウ エ ア       | 270,944   | (純 資 産 の 部)   |           |
| ソ フ ト ウ エ ア 仮 勘 定 | 76,221    | 株 主 資 本       | 465,498   |
| 投 資 そ の 他 の 資 産   | 109,791   | 資 本 金         | 259,165   |
| 敷 金 及 び 保 証 金     | 99,990    | 資 本 剰 余 金     | 1,001,040 |
| 長 期 前 払 費 用       | 9,667     | 利 益 剰 余 金     | △794,706  |
| そ の 他             | 133       | 純 資 産 合 計     | 465,498   |
| 資 産 合 計           | 1,288,128 | 負 債 純 資 産 合 計 | 1,288,128 |

(注) 金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(2025年8月1日から  
2026年7月31日まで)

(単位：千円)

| 科 目                                                                                                                                                                    |    | 金 額 |           |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----|-----------|
| 売上<br>販売費<br>営業<br>受<br>受補<br>雑<br>営<br>支<br>為<br>経<br>特<br>特<br>固<br>事<br>讓<br>税<br>法<br>当<br>親<br>会<br>社<br>株<br>主<br>に<br>帰<br>属<br>す<br>る<br>当<br>期<br>純<br>損<br>失 | 上  |     | 1,353,363 |
|                                                                                                                                                                        | 上  |     | 500,040   |
|                                                                                                                                                                        | 総  |     | 853,322   |
|                                                                                                                                                                        | 及び |     | 1,520,559 |
|                                                                                                                                                                        | 業  |     | 667,236   |
|                                                                                                                                                                        | 外  |     |           |
|                                                                                                                                                                        | 取  | 利   | 225       |
|                                                                                                                                                                        | 取  | 配   | 4         |
|                                                                                                                                                                        | 助  | 金   | 6,589     |
|                                                                                                                                                                        |    | 収   | 3,063     |
|                                                                                                                                                                        |    | 入   |           |
|                                                                                                                                                                        | 外  | 費   |           |
|                                                                                                                                                                        | 払  | 利   | 8,093     |
|                                                                                                                                                                        | 替  | 差   | 416       |
|                                                                                                                                                                        |    |     | 8,510     |
| 常<br>別<br>損<br>利<br>入<br>益                                                                                                                                             | 損  |     | 665,864   |
|                                                                                                                                                                        | 利  |     |           |
|                                                                                                                                                                        | 却  |     | 12,345    |
|                                                                                                                                                                        | 戻  |     |           |
|                                                                                                                                                                        | 入  |     | 12,345    |
| 特<br>別<br>損<br>失                                                                                                                                                       | 損  |     |           |
|                                                                                                                                                                        | 失  |     |           |
|                                                                                                                                                                        | 入  |     |           |
| 固<br>事<br>讓<br>渡<br>制<br>限<br>付<br>株<br>式<br>報<br>酬<br>償<br>却<br>損                                                                                                     | 除  |     | 2,993     |
|                                                                                                                                                                        | 却  |     | 1,230     |
|                                                                                                                                                                        | 損  |     | 12,447    |
| 税<br>金<br>等<br>調<br>整<br>前<br>当<br>期<br>純<br>損<br>失                                                                                                                    | 損  |     | 16,671    |
|                                                                                                                                                                        | 失  |     |           |
|                                                                                                                                                                        | 入  |     |           |
| 法<br>人<br>税<br>、<br>住<br>民<br>税<br>及<br>び<br>事<br>業<br>税<br>当<br>期<br>純<br>損<br>失                                                                                      | 損  |     | 670,190   |
|                                                                                                                                                                        | 失  |     | 2,065     |
|                                                                                                                                                                        | 入  |     |           |
| 親<br>会<br>社<br>株<br>主<br>に<br>帰<br>属<br>す<br>る<br>当<br>期<br>純<br>損<br>失                                                                                                | 損  |     | 672,256   |
|                                                                                                                                                                        | 失  |     | 672,256   |

(注) 金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書

(2025年8月1日から  
2026年7月31日まで)

(単位：千円)

|                       | 株 主 資 本 |           |           |             | 純 資 産 合 計 |
|-----------------------|---------|-----------|-----------|-------------|-----------|
|                       | 資 本 金   | 資 本 剰 余 金 | 利 益 剰 余 金 | 株 主 資 本 合 計 |           |
| 当連結会計年度期首残高           | 249,165 | 991,040   | △122,450  | 1,117,754   | 1,117,754 |
| 当連結会計年度変動額            |         |           |           |             |           |
| 新株の発行<br>(譲渡制限付株式の発行) | 9,950   | 9,950     |           | 19,900      | 19,900    |
| 新株の発行<br>(新株予約権の行使)   | 50      | 50        |           | 100         | 100       |
| 親会社株主に帰属する当期純損失       |         |           | △672,256  | △672,256    | △672,256  |
| 当連結会計年度変動額合計          | 10,000  | 10,000    | △672,256  | △652,256    | △652,256  |
| 当連結会計年度末残高            | 259,165 | 1,001,040 | △794,706  | 465,498     | 465,498   |

(注) 金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

# 貸 借 対 照 表

(2026年7月31日現在)

(単位：千円)

| 科 目               | 金 額       | 科 目             | 金 額       |
|-------------------|-----------|-----------------|-----------|
| (資 産 の 部)         |           | (負 債 の 部)       |           |
| 流 動 資 産           | 641,496   | 流 動 負 債         | 382,060   |
| 現 金 及 び 預 金       | 415,764   | 1年内返済予定の長期借入金   | 155,344   |
| 売 掛 金             | 73,748    | 未 払 金           | 78,164    |
| 前 渡 金             | 1,314     | 未 払 費 用         | 53,957    |
| 前 払 費 用           | 42,540    | 未 払 法 人 税 等     | 5,124     |
| 短 期 貸 付 金         | 50,000    | 前 受 金           | 34,732    |
| そ の 他             | 58,128    | 預 り 金           | 10,364    |
| 固 定 資 産           | 753,670   | 賞 与 引 当 金       | 44,372    |
| 有 形 固 定 資 産       | 137,090   | 固 定 負 債         | 402,347   |
| 建 物               | 103,363   | 長 期 借 入 金       | 402,347   |
| 工 具、器 具 及 び 備 品   | 33,727    | 負 債 合 計         | 784,407   |
| 無 形 固 定 資 産       | 347,166   | (純 資 産 の 部)     |           |
| ソ フ ト ウ エ ア       | 270,944   | 株 主 資 本         | 610,759   |
| ソ フ ト ウ エ ア 仮 勘 定 | 76,221    | 資 本 金           | 259,165   |
| 投 資 そ の 他 の 資 産   | 269,412   | 資 本 剰 余 金       | 1,001,040 |
| 関 係 会 社 株 式       | 159,620   | 資 本 準 備 金       | 159,165   |
| 敷 金 及 び 保 証 金     | 99,990    | そ の 他 資 本 剰 余 金 | 841,875   |
| 長 期 前 払 費 用       | 9,667     | 利 益 剰 余 金       | △649,445  |
| そ の 他             | 133       | そ の 他 利 益 剰 余 金 | △649,445  |
|                   |           | 繰 越 利 益 剰 余 金   | △649,445  |
| 資 産 合 計           | 1,395,166 | 純 資 産 合 計       | 610,759   |
|                   |           | 負 債 純 資 産 合 計   | 1,395,166 |

(注) 金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

損 益 計 算 書

(2025年8月 1 日から  
2026年7月31日まで)

(単位：千円)

| 科 目                     |                         | 金      | 額         |
|-------------------------|-------------------------|--------|-----------|
| 売 上                     | 高 価                     |        | 970,321   |
| 売 上 原 価                 | 価 値                     |        | 359,748   |
| 売 上 総 利 益               | 利 益                     |        | 610,573   |
| 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費     | 費 用                     |        | 1,368,362 |
| 営 業 外 収 入               | 損 失                     |        | 757,789   |
| 受 取 利 息                 | 利 息                     | 1,113  |           |
| 受 取 配 当 金               | 配 当 金                   | 4      |           |
| 経 営 指 導 料               | 指 導 料                   | 70,868 |           |
| 補 助 金 収 入               | 補 助 金 収 入               | 6,589  |           |
| そ の 他                   | そ の 他                   | 3,039  | 81,613    |
| 営 業 外 費 用               | 費 用                     |        |           |
| 支 払 利 息                 | 支 払 利 息                 | 8,093  |           |
| 為 替 差 損 失               | 為 替 差 損 失               | 403    | 8,497     |
| 特 別 利 益                 | 特 別 利 益                 |        | 684,673   |
| 特 敷 金 償 却 戻 入 益         | 特 敷 金 償 却 戻 入 益         | 12,345 | 12,345    |
| 特 別 損 失                 | 特 別 損 失                 |        |           |
| 固 定 資 産 除 却 損           | 固 定 資 産 除 却 損           | 2,993  |           |
| 事 務 所 移 転 費 用           | 事 務 所 移 転 費 用           | 1,230  |           |
| 譲 渡 制 限 付 株 式 報 酬 償 却 損 | 譲 渡 制 限 付 株 式 報 酬 償 却 損 | 12,447 | 16,671    |
| 税 引 前 当 期 純 損 失         | 税 引 前 当 期 純 損 失         |        | 688,998   |
| 法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税 | 法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税 | 1,787  | 1,787     |
| 当 期 純 損 失               | 当 期 純 損 失               |        | 690,786   |

(注) 金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

(2025年8月1日から  
2026年7月31日まで)

(単位：千円)

|                                      | 株 主 資 本 |           |                |              |                  |              |             | 純資産合計     |
|--------------------------------------|---------|-----------|----------------|--------------|------------------|--------------|-------------|-----------|
|                                      | 資 本 金   | 資 本 剰 余 金 |                |              | 利 益 剰 余 金        |              | 株主資本<br>合 計 |           |
|                                      |         | 資本準備金     | そ の 他<br>資本剰余金 | 資本剰余金<br>合 計 | その他利益<br>剰余金     | 利益剰余金<br>合 計 |             |           |
|                                      |         |           |                |              | 繰 越 利 益<br>剰 余 金 |              |             |           |
| 当 期 首 残 高                            | 249,165 | 149,165   | 841,875        | 991,040      | 41,340           | 41,340       | 1,281,546   | 1,281,546 |
| 当 期 変 動 額                            |         |           |                |              |                  |              |             |           |
| 新 株 の 発 行<br>( 譲 渡 制 限 付 株 式 の 発 行 ) | 9,950   | 9,950     |                | 9,950        |                  |              | 19,900      | 19,900    |
| 新 株 の 発 行<br>( 新 株 予 約 権 の 行 使 )     | 50      | 50        |                | 50           |                  |              | 100         | 100       |
| 当 期 純 損 失                            |         |           |                |              | △690,786         | △690,786     | △690,786    | △690,786  |
| 当 期 変 動 額 合 計                        | 10,000  | 10,000    | －              | 10,000       | △690,786         | △690,786     | △670,786    | △670,786  |
| 当 期 末 残 高                            | 259,165 | 159,165   | 841,875        | 1,001,040    | △649,445         | △649,445     | 610,759     | 610,759   |

(注) 金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

# 連結計算書類に係る会計監査報告

## 独立監査人の監査報告書

2026年9月24日

リンカーズ株式会社  
取締役会 御中

### 太陽有限責任監査法人

東京事務所

|                         |       |     |     |
|-------------------------|-------|-----|-----|
| 指定有限責任社員<br>業 務 執 行 社 員 | 公認会計士 | 河 島 | 啓 太 |
| 指定有限責任社員<br>業 務 執 行 社 員 | 公認会計士 | 大 塚 | 弘 毅 |

#### 監査意見

当監査法人は、会社法第444条第4項の規定に基づき、リンカーズ株式会社の2025年8月1日から2026年7月31日までの連結会計年度の連結計算書類、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表について監査を行った。

当監査法人は、上記の連結計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、リンカーズ株式会社及び連結子会社からなる企業集団の当該連結計算書類に係る期間の財産及び損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「連結計算書類の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定（社会的影響度の高い事業体の財務諸表監査に適用される規定を含む。）に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 強調事項

1. 連結注記表の「重要な後発事象に関する注記」に記載されているとおり、会社は、2026年9月11日開催の取締役会において、SBIホールディングス株式会社との間で資本業務提携契約を締結すること及び同社を割当先とする第三者割当による新株式の発行を行うことを決議し、同日付で資本業務提携契約を締結している。
2. 連結注記表の「重要な後発事象に関する注記」に記載されているとおり、会社は、2026年9月11日開催の取締役会において、筆頭株主である前田佳宏氏との間で劣後金銭消費貸借契約を締結すること及び500,000千円の資金調達を行うことを決議し、同日付で当該契約を締結するとともに、借入を実行している。

当該事項は、当監査法人の意見に影響を及ぼすものではない。

#### その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監査役及び監査役会の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

当監査法人の連結計算書類に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

連結計算書類の監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と連結計算書類又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

#### 連結計算書類に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結計算書類を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

連結計算書類を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき連結計算書類を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

#### 連結計算書類の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての連結計算書類に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から連結計算書類に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、連結計算書類の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 連結計算書類の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として連結計算書類を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において連結計算書類の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する連結計算書類の注記事項が適切でない場合は、連結計算書類に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 連結計算書類の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた連結計算書類の表示、構成及び内容、並びに連結計算書類が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。
- ・ 連結計算書類に対する意見表明の基礎となる、会社及び連結子会社の財務情報に関する十分かつ適切な監査証拠を入手するために、連結計算書類の監査を計画し実施する。監査人は、連結計算書類の監査に関する指揮、監督及び査閲に関して責任がある。監査人は、単独で監査意見に対して責任を負う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

# 計算書類に係る会計監査報告

## 独立監査人の監査報告書

2026年9月24日

リンカーズ株式会社  
取締役会 御中

### 太陽有限責任監査法人

東京事務所

|                    |       |    |    |
|--------------------|-------|----|----|
| 指定有限責任社員<br>業務執行社員 | 公認会計士 | 河島 | 啓太 |
| 指定有限責任社員<br>業務執行社員 | 公認会計士 | 大塚 | 弘毅 |

#### 監査意見

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、リンカーズ株式会社の2025年8月1日から2026年7月31日までの第15期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書（以下「計算書類等」という。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の計算書類等が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類等に係る期間の財産及び損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「計算書類等の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定（社会的影響度の高い事業体の財務諸表監査に適用される規定を含む。）に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 強調事項

1. 個別注記表の「重要な後発事象に関する注記」に記載されているとおり、会社は、2026年9月11日開催の取締役会において、SBIホールディングス株式会社との間で資本業務提携契約を締結すること及び同社を割当先とする第三者割当による新株式の発行を行うことを決議し、同日付で資本業務提携契約を締結している。
2. 個別注記表の「重要な後発事象に関する注記」に記載されているとおり、会社は、2026年9月11日開催の取締役会において、筆頭株主である前田佳宏氏との間で劣後金銭消費貸借契約を締結すること及び500,000千円の資金調達を行うことを決議し、同日付で当該契約を締結するとともに、借入を実行している。

当該事項は、当監査法人の意見に影響を及ぼすものではない。

#### その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監査役及び監査役会の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

当監査法人の計算書類等に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

計算書類等の監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と計算書類等又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

#### 計算書類等に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類等を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

計算書類等を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき計算書類等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

#### 計算書類等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての計算書類等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から計算書類等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、計算書類等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 計算書類等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として計算書類等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において計算書類等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する計算書類等の注記事項が適切でない場合は、計算書類等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 計算書類等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた計算書類等の表示、構成及び内容、並びに計算書類等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以 上

## 監査役会の監査報告

### 監 査 報 告 書

当監査役会は、2025年8月1日から2026年7月31日までの第15期事業年度における取締役の職務の執行に関して、各監査役が作成した監査報告書に基づき、審議の上、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

#### 1. 監査役及び監査役会の監査の方法及びその内容

- (1) 監査役会は、監査の方針、職務の分担等を定め、各監査役から監査の実施状況及び結果について報告を受けるほか、取締役等及び会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。
- (2) 各監査役は、監査役会が定めた監査役監査の基準に準拠し、監査の方針、職務の分担等に従い、取締役、内部監査室その他の使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、以下の方法で監査を実施いたしました。
  - ① 取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社において業務及び財産の状況を調査いたしました。また、子会社については、子会社の取締役及び監査役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。
  - ② 事業報告に記載されている取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社及びその子会社から成る企業集団の業務の適正を確保するために必要なものとして会社法施行規則第100条第1項及び第3項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制(内部統制システム)について、取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明いたしました。
  - ③ 会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」(会社計算規則第131条各号に掲げる事項)を「監査に関する品質管理基準」(企業会計審議会)等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書並びに連結計算書類（連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表）について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### （1）事業報告等の監査結果

①事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。

②取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

③内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項はありません。

### （2）連結計算書類の監査結果

会計監査人太陽有限責任監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

### （3）計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人太陽有限責任監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

2026年9月25日

リンカーズ株式会社 監査役会

社外監査役(常勤) 梅 川 栄 吉 ㊞

社 外 監 査 役 保 田 隆 明 ㊞

社 外 監 査 役 江 尻 琴 美 ㊞

以 上

東京都港区三田三丁目5番19号  
住友不動産東京三田ガーデンタワー3階  
ベルサール三田ガーデン Room 2  
(昨年の会場とは異なりますのでご注意ください。)



見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。